

第8回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和元年（2019年）7月25日

定 例 会

令和元年第8回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和元年7月25日（午前の部）
 招集の場所 第3委員会室
 開閉会日時 開会7月25日 午前 9時30分
 閉会7月25日 午前11時36分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	堀 川 智 子	委 員	進 藤 秀 子
委 員	荒 木 明 子	委 員	渡 辺 律 子

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	永 福 徹	学校教育部長	岡 本 順
教育総務部 副部長兼 生涯学習課長	福 田 博	学校教育部 副参事兼 指導課長	山 口 徳 明
教育総務課長	渡 辺 真 浩	学校教育部 副参事兼 給食課長	石 川 智 啓
スポーツ振興 課長	八木下 太	学校教育部 副参事兼教育 センター所長	鈴 木 雅 彦
図書館長	横 山 みどり	学校管理課長	紺 野 功
生涯学習課 調整幹	中 野 聡	学 務 課 長	佐々木 清
大沢公民館長	森 田 昌 明	学校管理課 調整幹	齋 藤 道 雄
		指導課調整幹	菊 池 邦 隆
		給食課 調整幹兼 第一学校給食 センター所長	中 山 佳 孝
		教育センター 調整幹	田 嶋 栄 蔵

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副課長	並 木 智 史
--------------	---------

令和元年第8回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和元年7月25日（午後の部）
 招集の場所 第3委員会室
 開閉会日時 開会7月25日 午後 1時00分
 閉会7月25日 午後 4時54分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	堀 川 智 子	委 員	進 藤 秀 子
委 員	荒 木 明 子	委 員	渡 辺 律 子

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	永 福 徹	学校教育部長	岡 本 順
教育総務課長	渡 辺 真 浩	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 指 導 課 長	山 口 徳 明
		学 務 課 長	佐々木 清
		指導課調整幹	菊 池 邦 隆
		教育センター 調 整 幹	田 嶋 栄 蔵

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 課 長	並 木 智 史
----------------	---------

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより7月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、8名の方から傍聴許可願が提出されておりますが、第35号議案については、人事案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前 9時30分)

吉田教育長 ここで、傍聴人の入室を許可します。

〔傍聴人入室〕

吉田教育長 それでは、傍聴される皆様におかれましては、傍聴の心得の内容をお守りいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

ここで、本日の議事の進行についてお諮りいたします。

第37号議案 令和2年度使用小中学校教科用図書の採択については、長時間の審議を要する議案であるため、通常の議案及び協議事項が終了した後審議に入りたいと存じますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

◎第36号議案 越谷市文化財調査委員会委員の委嘱について

吉田教育長 それでは、第36号議案「越谷市文化財調査委員会委員の委嘱について」、生涯学習課長から説明いたします。

福田生涯学習課長 それでは、第36号議案 越谷市文化財調査委員会委員の委嘱についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項5ページをお開きいただきたいと思います。

第36号議案 越谷市文化財調査委員会委員の委嘱について。

越谷市文化財調査委員会委員を次のとおり委嘱するものとする。

令和元年（2019年）7月25日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市文化財調査委員会委員が令和元年7月31日をもって任期満了となるので、その後任委員を委嘱する必要があるため提案するものでございます。

越谷市文化財調査委員会につきましては、越谷市議会における文化財保護に係る調査や審議をすることを目的としており、専門性が高いことから、委員の職に当たりましては、民族や郷土の

歴史、考古学等、それぞれの学識を有する方をお願いしたいと考えております。また、文化財調査委員会委員は、越谷市文化財保護条例第4条により設置されており、委員の数は越谷市文化財調査委員に関する規則第2条により7名と定めております。

任期は、同規則同条により2年と定められており、今回委嘱させていただく委員の皆様につきましては、令和元年8月1日から令和3年7月31日までとなります。

それでは、名簿に沿って、氏名、選出母体・役職等、性別、任期のうち新任・再任の順に申し上げます。なお、その際、敬称については省略をさせていただきます。

板垣時夫、元白岡市教育委員会・事務局職員、男、再任。

鈴木照子、NPO法人越谷市郷土研修会、女、再任。

高崎光司、元越ヶ谷高等学校・教諭、男、再任。

富樫雅彦、NPO法人文化遺産の世界・理事、男、再任。

矢口孝悦、元羽生市教育委員会・事務局職員、男、再任。

本橋司、越谷市立平方中学校・教諭、男、新任。

橋本雄一郎、越谷市立蒲生第二小学校・教諭、男、新任。

以上7名の委員構成でございますが、男性が6名、女性が1名で、女性の比率は約14.3%となっております。また、再任の方が5名、新任の方が2名でございます。

第36号議案につきましての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより本案に対し、質疑、討論を行います。

ご質問またはご意見等ございますか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより第36号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎令和元年度越谷市教育費補正予算について

吉田教育長 続きまして、協議事項に入ります。

「令和元年度越谷市教育費補正予算について」、教育総務部長から説明いたします。

永福教育総務部長 それでは、令和元年度越谷市教育費補正予算の要求内容についてご説明を申し上げます。

別冊の令和元年度越谷市教育費補正予算について、をご覧ください。2ページ、3ページをご覧ください。

まず、歳入についてご説明いたします。

3 ページの表の一番下にございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連する歳入予算につきましては、今回1,920万5,000円を増額いたしまして、補正後の総額は29億6,045万1,000円となります。

歳入の内容でございますが、6、7 ページをお開きください。初めに、教育総務部の歳入に係る要求でございます。教育総務課ですが、9 款地方特例交付金、2 項子ども・子育て支援臨時交付金、1 目子ども・子育て支援臨時交付金につきましては、10月から始まる幼児教育・保育の無償化に伴う副食費相当分に対する補助に関し、初年度は全額国費負担とされたことに伴い、地方負担分にかかわります子ども・子育て支援臨時交付金として630万円を追加いたします。

次の14款国庫支出金、2 項国庫補助金、5 目教育費国庫補助金につきましては、幼児教育・保育の無償化に伴う国費負担分3分の1として、実費徴収にかかわります補足給付事業費補助金630万円を追加いたします。

次の15款県支出金、2 項県補助金、6 目教育費県補助金につきましては、同じく県負担金3分の1として実費徴収に係る補足給付事業補助金630万円を追加するものでございます。

次に、スポーツ振興課にかかわるものですが、20款諸収入、6 項雑入、1 目雑入につきましては、その他雑入として市主催のスポーツ大会におけるけがに対する市民総合災害等補償金15万5,000円を追加するものでございます。

次に、学校教育部にかかわります歳入の要求でございます。指導課ですが、15款県支出金、3 項委託金、4 目教育費委託金につきましては、新しい時代に求められる資質能力育成事業にかかわる委託金として15万円を追加いたします。

続きまして、歳出の内容でございますが、5 ページ下段の教育費にかかわります歳出合計欄をご覧ください。今回1 億2,366万5,000円を追加し、補正後の総額は104億5,508万8,000円となります。

主なものについてご説明申し上げます。8 ページ、9 ページをお開きください。初めに、教育総務費に係ります歳出の要求でございます。教育総務課ですが、5 項幼稚園費、1 目幼稚園費の子ども・子育て支援給付費につきましては、幼児教育・保育の無償化に伴う実費徴収にかかわります補足給付事業費として1,890万円を追加いたします。

次に、生涯学習課ですが、6 項社会教育費、1 目社会教育総務費のうち文化財保護事業につきましては、大間野町旧中村家住宅にかかわります修繕料として136万円を追加いたします。また、その他社会教育総務費につきましては、市の主催事業におけるけがに対する補償金3万円を追加いたします。

次に、科学技術体験センターですが、1 項教育総務費、5 目科学技術体験センター費の科学技術体験センター管理運営費につきましては、科学技術体験センターの設備にかかわります修繕料

として519万4,000円を追加いたします。

次に、スポーツ振興課ですが、7項保健体育費、3目体育費のうち体育振興事業につきましては、越谷アルファーズのPRにかかわります広告料として18万4,000円を追加いたします。また、体育施設管理運営費につきましては、屋外体育施設にかかわります修繕として180万9,000円を追加するほか、その他体育費につきましては、市主催のスポーツ大会におけるけがに対する補償金として歳入と同額、15万5,000円を追加するものでございます。

次に、学校教育部にかかわります要求でございます。学校管理課ですが、2項小学校費、1目学校管理費の施設管理費につきましては、小学校施設管理に係る委託料の追加及び施設の改修工事費として、合わせて7,435万4,000円を追加いたします。

3項小学校費、1目学校管理費のうち施設管理費につきましては、中学校施設管理にかかわります委託料として1,296万6,000円を追加するものでございます。

次に、学務課ですが、10ページになります。1項教育総務費、2目事務局費の教育活動支援事業につきましては、特別支援教育支援員等の配置にかかわる臨時職員賃金689万1,000円を追加いたします。

7項保健体育費、1目学校保健費の健康管理事業につきましては、産業医及び健康管理医の配置決定に伴い196万2,000円を減額をいたします。

次に、指導課ですが、1項教育総務部、3目学校教育指導費の外国語指導事業につきましては、外国語指導委託料の契約額の確定に伴い368万3,000円を減額するものでございます。

9月補正予算の要求にかかわる説明は以上となります。ご協議、よろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより協議に入ります。

ご質問、またはご意見等はございませんか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、1点だけお聞かせください。

特別支援教育支援員等の配置で学校からも要望が多く出ているかなと思うのですけれども、この増額によって何人ぐらい配置ができるのかお聞かせください。

吉田教育長 学務課長。

佐々木学務課長 現在、学校から多く要望が出されております。この予算額をつけていただければ、8名相当に該当する支援員の配置ができるというふうに考えております。

吉田教育長 他にございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

◎第37号議案 令和2年度使用小中学校教科用図書の採択について

吉田教育長 それでは、第37号議案「令和2年度使用小中学校教科用図書の採択について」、指導課長から説明いたします。

山口指導課長 それでは、第37号議案 令和2年度使用小中学校教科用図書の採択についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の7ページをお開きください。

第37号議案 令和2年度使用小中学校教科用図書の採択について。

令和2年度使用小中学校教科用図書を別紙のとおり採択するものとする。

令和元年7月25日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、小学校教科用図書の改訂及び中学校教科用図書の採択がえに伴い、令和2年度使用小中学校教科用図書を採択する必要があるため、提案するものでございます。

越谷市立小中学校で使用する教科用図書の採択につきましては、教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び越谷市立小中学校使用教科用図書の採択に関する要綱第3条の規定により、本市教育委員会で行うこととなっております。

恐れ入りますが、会議要項の9ページをお開きください。今年度採択する小学校教科用図書は、採択一覧表でお示ししましたとおり14種目でございます。今回約10年ごとに改訂される文部科学省が定める教育課程の基準、学習指導要領が改訂されたことを受けて、教科用図書が変更されることとなりました。したがって、令和2年度からの小学校、新学習指導要領全面実施に伴い、道徳を含めた全ての教科で採択を実施いたします。

なお、道徳に関しましては2年前に採択を行い、特別の教科として先行実施しておりますが、昨年度新学習指導要領にのっとり改めて検定を行っておりますので、他の教科と同様に採択を行います。

なお、採択された教科用図書につきましては、令和2年度から4年間の使用となります。

続きまして、会議要綱の11ページをお開きください。中学校教科用図書につきましては、採択一覧表でお示ししましたとおり、昨年度採択した道徳を除いた16種目でございます。今回、義務教育小学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第15条の規定に基づき、道徳を除いた教科用図書の採択が4年を経過することから実施するものでございます。

なお、令和3年度から中学校の学習指導要領が改訂され、中学校新学習指導要領全面実施となることから、採択された教科用図書につきましては、令和2年度から1年間の使用となります。中学校新学習指導要領全面実施に伴う教科用図書の採択につきましては、令和2年度に実施する予定でございます。

採択の手順につきましては、越谷市立小中学校使用教科用図書採択事務要領に基づき行います。

初めに、越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員より選定資料に基づく報告を行い、続いて教育長及び教育委員の皆様からの質疑にお答えいたします。その後、教育長及び教育委員の皆様でご協議いただいた後、採択をお願いいたします。

第37号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 それでは、これより教科用図書の審議を行います。

審議に入る前に委員の皆様にお諮りいたします。

採択の方法ですが、種目ごとに全部の教科用図書発行者について、私及び委員がそれぞれ5段階で評価した上で順次無記名で投票し、評価点数の総合計が最も多い教科用図書発行者を採択することにしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ここで傍聴人の方にお知らせいたします。

傍聴の心得にあるように、議案の進行を妨げるような言動はお控えいただきますようお願いいたします。静粛な会議の進行にご協力をお願いいたします。

初めに、中学校社会（地理的分野）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 社会（地理的分野）の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） それでは、社会科地理の教科書についてご説明させていただきます。

東京書籍につきましては、1単位時間の紙面を、導入資料、学習課題、本文、確認の流れの中で構造化し、学習内容の定着が図れるようになっております。まとめをするための設問もあり、思考力、判断力、表現力を使って言語活動が展開できるように工夫されております。また、環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和など、今日的な課題解決のための意識と態度を育てる内容、構成になっております。具体的な記述と資料の提示、課題への興味関心の喚起、課題解決の取り組みの流れで学習できるようになっております。

続きまして、教育出版につきましては、学習課題と対応した「振り返る」のコーナーで基礎的な事項の確認、整理する設問、地理的な事象の説明や話し合いなどの設問があり、段階的に取り組めるよう工夫されております。また、世界の各州や日本の各地での事例をもとに、「地理の窓」や今日的な課題に迫る特設ページを設け、個に応じた学びへのアプローチも工夫されております。

続きまして、帝国書院でございます。見開きの構成が、「導入」、「学習課題」、「解説」、「資料活用」、「確認しよう」、「説明しよう」となっており、学習が段階的に進めやすくなっております。

「確認しよう」では基礎・基本の確認、「説明しよう」では思考力、判断力、表現力を伸ばすための言語活動が行えるように工夫されております。また、羅針盤マークのコラムが設けられ、現代

の諸地域を取り巻く動向や課題への取り組みが捉えられるよう工夫されております。共生、環境、防災の3つのテーマから成るコラム「地域をさぐろう」のテーマで、地域を見詰め直す学習ができるようになっております。

日本文教出版でございます。学習課題で何を学ぶかを明確に示し、最後に「確認」と「活用のまとめ」の問いがあります。「確認」では基礎・基本の確認、「活用」では思考力、判断力、表現力を伸ばすための言語活動が行えるようになっており、学習内容が確実に定着するよう工夫されております。また、災害や防災に関する教材、環境問題や環境保全、持続可能な社会に関する教材が充実し、今日的課題について生徒が主体的に考察できるよう工夫されております。「コラム」、「地理プラスアルファ」や特設ページ、「自由研究」でさらに理解を深めることができるようになっております。

以上で説明を終わらせていただきます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、選定委員としてどの教科書を推薦するのか、ご報告をお願いします。

齋藤選定委員長（増林小校長） それでは、私のほうから報告申し上げます。

選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が4種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、70点、17番、教育出版、46点、38番、帝国書院、55点、116番、日本文教出版、41点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、70点の東京書籍、55点の帝国書院、46点の教育出版を推薦します。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。

荒木委員。

荒木委員 現在、東京書籍を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会では各学校からの実績等の話題でどのようなことが挙がりましたでしょうか。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） 各学校からの報告書によると、市内15校全ての中学校が、現在使用している東京書籍が適正であると答えております。理由といたしましては、資料、写真が豊富であるということが一番に挙げられます。選定委員会でも話が出ましたが、資料集が必要ない

くらいの写真やグラフなどが充実しております。これらの資料を使い、生徒に考えさせる学習を進めることができると考えております。また、教員にとっても指導しやすい教科書であるとの回答をいただいております。

以上でございます。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますか。

堀川委員。

堀川委員 現在、先生方が使用していて使いづらいなどの意見はございましたでしょうか。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） 学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、特に使いづらいなどの意見はございませんでした。

吉田教育長 よろしいですか。

堀川委員 はい。

吉田教育長 他にございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になれば質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

今回の採択は、前回平成27年度採択時と同じ検定本から採択することになります。協議については、前回採択した教科書用図書を使用してきてどうであったかということを踏まえてということになりますが、現在使用している社会（地理的分野）の教科用図書についてご意見を願います。

堀川委員。

堀川委員 先ほど実績などのところの話題でも出ましたけれども、適正と答えた理由の中で多くの学校が、写真、グラフ、地図などの資料の豊富さを挙げています。社会科の授業で主体的、対話的で深い学びを実践していくためには、生徒に考えさせる根拠、きっかけとなる資料の記述は欠かせないものであると考えます。これまで使ってきた教科書ということで、これらの資料を使って学習を進めていく上でも、先生方が教えやすく、生徒にとっても学びがいのある教科書ではないかと考えます。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、今、部会長さんの説明、それから堀川委員さんからもお話ありましたとおり、資料の量とか本文の質、それもちょうどいいのかなというふうに私も考えます。バランスがとれているのではないかなというふうに思うのです。あと、振り返りにも非常に活用

しやすいのかなというふうに思いました。

それと、少し委員さんに見ていただきたいのですが、東書の150ページ、151ページあたりなのですけれども、先ほどから話に出ているように、見開き2ページで学習内容がコンパクトにまとめられているというスタイルですね、この1単位時間分がこれでわかるということと、それから日本の気候とかグラフとか写真、それから地図とかコンパクトにまとまっていて、非常に効果的に使えるのではないかなというふうには私は思いました。それから、これ私小学校で少し似たような授業をやったことあるのですけれども、こうやって資料を用意するだけでも結構な手間がかかりますので、こういうものがあれば非常に使いやすいのではないかなということで、今回の現場からの声になっているのかなというふうに思いました。

私のほうからは以上です。

吉田教育長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 私のほうから、同じようなことになってしまうのですけれども、各社とも興味を引くようなさまざまな資料を載せているところですが、東書では見返し部分に小学校で学習した国を中心に載せてあることや、あるいは各章の最初に小学校で学習した内容を振り返る活動を設けていることにより、小中のつながりを意識させる、重視する、あるいはその接続に配慮しているところがございます。

また、例えば世界の、ちょうど今見ました5ページですか、5ページのところをあけると、下のほうに「小学校では」ということで書かれておりますし、同時に25ページを見ても、小学校で書かれている内容が読み取れるかというふうに思います。また、146ページから、先ほど資料とか流れで授業を進めやすいというふうにお話ありましたけれども、146から147を見てもらうと、導入資料のところに、東書に限ったことではありませんけれども、例えば日本の川の特徴を表すのに、これは常願寺川と信濃川を挙げていますけれども、信濃川は日本で長い川です。ほかの国の川と比べるとまるで滝のように表現されていますが、いつときに降った雨が一どきに流れてしまうという、そういう日本の川の特徴を挙げているのがわかるかと思います。その他にも右側の147ページにも導入資料として分かりやすいような、図式化したもの、例えば147ページの一番上には鳥瞰図であるとか、その下に航空写真が載せてあるようで、さらに地形図など、こういうものを組み合わせて読み取りやすくしているということもございます。小学校でも絵地図から地形図を勉強させるところありますよね。そういったところにも配慮してこういう資料を載せているのかなと。

学習課題を146ページで示して、多分これ2ページで1単位時間ということになっているのだと思うのですけれども、本文で、そしてまとめると。資料を見て考えさせ本文でまとめるという簡単な流れだと思いますけれども、生徒にとってもそういう流れが見やすいと思います。生徒にとっ

でも教師にとっても学習の流れが見やすくなっている。こうしたことから、先ほど野口委員さんのお話にもありましたけれども、報告書の中に、学習の流れが構造化されているとか、あるいは流れに沿って進めることにより内容の統一化が図られるようになっているとか、生徒が主体的に取り組めるよう、わかりやすい資料、丁寧な資料が添えられているというものが多かったように思います。

委員さんのご発言をお願いします。ここから考えて、こういうふうに思うというようなことでもいいですので、他にございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 教育長さんからもお話あったのですけれども、この会社さんにも出ていますけれども、結構鳥瞰図というのが、これから子どもたちにとって、立体的に地理をつかませる上で重要なポイントになるのかなというふうに思っております。先ほどの147ページのところにも教育長さんからお話があったように出ていて、テレビなんか見ておられますと結構ドローンで撮影した場面がたくさん出るようになってきているので、こういった見方をこれからさせていくということは非常に大事なのかなというふうに私は思っています。

それと、越谷は、特にこの辺は関東平野で、非常に平らな土地が多いですので、日本はこういうところ非常に少ないわけですので、こういったところも効果的に活用されているのかなというふうに思います。他の会社さんでもそういうのが出ていますけれども、だんだんそういうところは工夫されて変わってきているのだなというふうに私は思いました。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になければ、その他の教科書についてご意見を願います。

進藤委員。

進藤委員 いずれの教科書も、まず冒頭におきまして学習課題というものを明示して、それを解決していくというふうな大まかな構造になっていて、そのプロセスというのがそれぞれの出版社の独自性が出ているのかなというふうに思うのですけれども、それぞれいいところも悪いところもあると思いますが、いずれの出版社に関しましても、生徒の思考力や判断力、表現力を高めていくような工夫がされていると感じました。

以上です。

吉田教育長 他に、あるいは関連してでも構いませんけれども、ございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 ただいま選定委員の方からご説明があったように、日文におきましては、災害や防災に関する教材と環境問題、持続可能な社会に関する教材など、いわゆる今日的な課題が入っており

まして、生徒が主体的に考える工夫がされているなというふうに感じました。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますか。

荒木委員。

荒木委員 他の委員さんもおっしゃっていたように、各社ともさまざまな工夫がされていると思いました。東書の世界から見た日本の姿では、防災や安全についての意識を高めて、東日本大震災以降の社会づくりに具体的に参画できる態度を養うことができるよう工夫されていると思います。

吉田教育長 他にございませんでしょうか。

今現在使用している教科書と、それから他の教科書と、それぞれ協議をしていただきましたけれども、他に協議したい内容等ございますか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより社会（地理的分野）の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 冒頭にも申し上げましたけれども、採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、各委員は順次投票をお願いします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。大丈夫ですか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、野口委員、それから堀川委員を指名いたします。

〔立会人立ち会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

教科書会社名は略称でさせていただきます。

発行者番号 2番 東 書 30票

46番 帝 国 24票

17番 教 出 20票

116番 日 文 18票

以上のとおり中学校社会（地理的分野）の教科用図書は、2番、東書を採択することに決しま

した。

社会（歴史的分野）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 中学校社会（歴史的分野）の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） それでは、社会科歴史の教科書についてご説明させていただきます。

まず、東京書籍につきましては、1単位時間の紙面を、導入資料、学習課題、本文、確認の流れの中で構造化し、学習内容の定着が図れるようになっております。各章のまとめでは、「時代の特色を捉えよう」というコーナーがあり、ウェビング図、比較表、ディスカッション、新聞などを作成するなど、多様な言語活動で時代の特色を捉えるよう工夫されております。また、小中の系統性、3分野の関連を重視し、小中の学習のスムーズな接続と一つの事象を多面的、多角的に考察する力を身につけられるように工夫されております。

教育出版につきましては、各時間の学習課題が最初に示され、問題意識を持って学習が進められるようになっております。各章のまとめのページには、年表での確認、地図で場所の確認など、知識、理解の定着を図る課題と動きや出来事について、「自分の言葉で説明する」、「時代の特色を考える」など、言語活動に取り組める課題があり、工夫されております。また、テーマ学習のページが設けられ、歴史をさまざまな側面から掘り下げて学習できるようになっており、個に応じた学びへの対応が工夫されております。

次に、清水書院につきましては、各時間の学習目標が最初に示され、学習内容について理解と考察が深められるようになっております。各章のまとめでは、「年表の完成」、「絵画資料の確認」、「歴史的事象の起きた場所の確認」で、知識、理解の定着、文章での説明で、表現力の育成ができるように工夫されております。また、特設ページ、「歴史の扉」、「もっと知りたい歴史」を設け、生徒が主体的に調査研究活動を行い、当時の社会や文化などを多面的、多角的に読み解き、考察できるように工夫されております。

帝国書院につきましては、各時代の初めに「タイムトラベル」を配置し、イラストから時代のイメージを膨らませ、本文のページで基礎・基本となる事項と歴史の展開を学習し、「確認しよう」、「説明しよう」で短い文で学習事項を整備しております。「学習を振り返ろう」では、時代の特色を説明するという構造になっており、各時代について理解しやすいように工夫されております。また、羅針盤マークのコラムでは、自然環境、人権、交流、平和の4つのテーマを設け、歴史の多様な側面から未来の社会をつくる必要な知識を学べるよう工夫されております。

次に、日本文教出版につきましては、各時代の学習課題が最初に示され、問題意識を持って学

習が進められるようになっております。各時代のまとめに確認と活用の問いがあり、学習のポイントの確実な定着と表現力を培う工夫があります。「捉えよう時代の転換」、「学習の活用」のコーナーを設け、歴史について考察する力、説明する力を育む学習活動ができるようになっております。また、特設ページ、「歴史を掘り下げる」や、「先人に学ぶ」などでは、今日的な課題の歴史的背景を詳しく解説しております。

自由社につきましては、1 時間の内容を見開き 2 ページに示すことを原則として、各時間の学習課題が最初に示され、問題意識を持って学習が進められるようになっております。「まとめにチャレンジ」では、思考力、判断力、表現力を培えるようになっております。また、見開き 2 ページに多くのコラムを設け、歴史に対する高いレベルの知的関心にも応えられる構成になっており、個々の能力を伸ばすための工夫も見られます。「もっと知りたい」、「人物クローズアップ」、「外から見た日本」などのコーナーなどから、主体的な学習ができるよう工夫されております。

育鵬社につきましては、見開きごとに学習のまとめの設問があり、それに取り組むことで毎時間の学習の中で思考力、判断力、表現力を育めるよう工夫されております。各章の学習のまとめや巻末の歴史学習のまとめでは、学習した内容から各時代の歴史を振り返り、生徒の思考力、判断力、表現力を養うことができるようになっております。また、「人物クローズアップ」で地域の歴史に名前を刻んだ偉人の足跡を紹介し、歴史ビュー、歴史ズームイン、巻末資料などで各地域での文化遺産を数多く紹介して、郷土を愛する態度を養う工夫も見られます。

学び舎につきましては、各章のまとめとして「振り返る」が設けており、文章による要約の穴埋め、年表の完成、場所の確認等、基礎的な知識の確認とともに、時代の特色と時代の転換を振り返りながら体感し、言語活動が行えるよう工夫されております。また、特設ページ、「歴史を体験する」や、各章の冒頭に大きな絵や写真を配置して、生徒の思考力や判断力を育成する工夫が見られます。

以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

何かございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それではまず、選定委員としてどの教科書を推薦するか、ご報告をお願いします。

齋藤選定委員長（増林小校長） 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見などを参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が8種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍70点、17番、教育出版、47点、35番、清水書院、44点、46番、帝国書院、57点、116番、日本文教出版、43点、225番、自由社、33点、227番、育鵬社、33点、229番、学び舎、37点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、70点の東京書籍、57点の帝国書院、47点の教育出版を推薦いたします。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますか。

進藤委員。

進藤委員 現在、東京書籍を選択して4年間使用しているわけでございますけれども、選定委員会では各学校からの実績で、話題としてどのようなことが挙がりましたか、教えてください。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） 各学校からの報告書によりますと、市内15校全ての中学校が、現在使用している東京書籍が適正であると答えております。理由といたしましては、写真、絵、年表などが豊富であるということが一番に挙げられております。資料集が必要ないくらい写真やグラフなどの資料も充実しており、生徒の興味関心を高め、教員にとっても指導しやすい教科書であるとの回答をいただいております。

以上です。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございませんでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 現場の先生方が現在使用していて、使いづらいなどの意見はありますでしょうか。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） 学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、特に使いづらいなどの意見はございませんでした。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

現在使用している社会（歴史的分野）の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員 適正と答えた理由の中で、多くの学校が写真、絵、グラフ、年表などの資料が豊富であることを挙げています。写真や資料を本文の上段に配置しており、大変目を引きまします。それが視覚的に理解が進み、生徒も関心を持ちやすく、学習の意欲も高まるのではないかと考えました。

以上です。

吉田教育長 今に関連してでも他の課題でもいいですが、何かございますか。

進藤委員。

進藤委員 年表やその他の資料により、歴史の流れがつかみやすいなという印象を持ちました。見開きページの下の部分に小さな歴史スケールが配置されていて、今一体どの時代を学習しているのかなというのが非常に視覚的にもわかりやすくなって、常にどの時代のどの部分を学習しているのかなというふうなことを意識しながら学習できるのかなと思いました。また、「深めよう」などの項目があって、さらに掘り下げた学習を進めることも可能になっております。また、学校からのアンケートとか、人物に迫りながらの授業展開がしやすいという意見がありました。現在、中学生は小学校のときにやはり東書を使っているのですけれども、小学校の東書の教科書も人物を軸に記載されておりますので、やはり小中連携という意味でも、授業が先生にとってはしやすいのかなという感想を持ちました。

以上です。

吉田教育長 他にどうでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 進藤委員さんからもお話があったとおり、私も同感なのですけれども、また先ほどの堀川委員さんのお話も同感だなと思ったのですけれども、やはり地理的分野と同じように見開き2ページで、学習活動が展開できるようになっているというあたりが教師にとっても使いやすい、子どもにとっても見やすいという形になっているのかなというふうに思いました。少し今進藤委員さんから話がかったように、小学校が人物に迫りながらということで、中学校もそれと同じようにできるという方にもいいのかなというふうに私も感じました。

それで、東書の62、63ページあたりには年表が出ているのですけれども、ここでも小学校と中学校、中学校で学習した内容は色を加えて完成させたというようなことがありまして、小学校との学習の関連についてもはっきりさせていてわかりやすいのかなというふうに思います。

また、264ページでしたか、「私たち歴史探険隊」というコーナーがあるのですけれども、郷土の歴史なんかについても目を向けさせる工夫もされていて、自分たちの郷土、そちらとの関連なんかについても目を向けさせる工夫があって、大変いいのかなというふうに私は思いました。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 私のほうからも1つ、61ページですか、よく授業終わった後歴史新聞にまとめるなんてことをやるのですけれども、大体どこから抜き書きしたようなあれでまとめてしまうふうな歴史新聞が多いのだけれども、例えば61ページにあるように、聖武天皇あるいは紫式部を中心に、それに関係するような歴史事象、あるいは人物等を取り上げて、こういった図をつくっておいて

からまとめていくというやり方をすると、事象とか人物とをつなげるときに自分の言葉を使って、何かを見てそのまま書き写すのではなくて、そういうつながりを自分なりに考えて、例えば歴史新聞にまとめるとかというようなことができるといいなと常々思っているのですが、こういうのは一つヒントになるかなというふうに思いました。

それから、72ページを見ると、さっきの地理と同じように、上の部分と両サイドの部分にわかりやすい資料を載せてあって、ここから武士の生活について見てとれる、読み取れる、資料を読み取っていきながら、72ページにあるような課題を追求しながらその最後に本文でまとめると。こういった、これも2ページ分で1単位時間で授業をこなせるようになっているかと思うのですが、いづれにしても、その授業の流れのつかみやすさ、それから適切でわかりやすい導入手段、学習課題、本文によるまとめなど、地理的分野と同じように工夫されている。そういうことが報告書の中に多く言及されている事柄と関連しているかなというふうに思っております。

他にどうでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 他になれば、その他の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

荒木委員。

荒木委員 選定委員さんのご報告にもありましたように、どの教科書でも学習課題が提示され、生徒たちが問題意識を持って学習に取り組む構成となっております。教科書ごとに差異はありますが、生徒の思考力、判断力、表現力を高めていくような工夫がされていると思います。

吉田教育長 ありがとうございます。

ただいまに関連して、あるいは別な角度からでもよろしいですが、何かございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 帝国書院の各時代の初めにあります「タイムトラベル」を見てみますと、当時の様子を示したイラストがわかりやすく示されており、生徒がイメージを膨らませて主体的に学習を進めることができるなというふうに感じました。

以上でございます。

吉田教育長 他に。

野口委員。

野口教育長職務代理者 教育出版なのですが、文字サイズも大きくて見やすくなっているなというふうに思います。また、時代スケールということで、いつの出来事かが視覚的につかめるように工夫されているなというふうに思います。各会社ともやはり主体的な活動を促せる学習課程が結構明確に打ち出されており、説明内容についても、かなり詳しく説明をどの教科書もしてくれているのだな。だから、自分たちが学習したところよりも細かい内容が載っているのかななんて思うと、中学生も大変だななんて少し思ったのですが、大変詳しくどの会社さん

も説明はしているなという印象を強く持ちました。

以上です。

吉田教育長 よろしいですか。

他に協議したい内容等ございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより社会（歴史的分野）の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、各委員は順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票は終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入ります。事務局の集計に当たりまして、立会人として、進藤委員、それから荒木委員を指名いたします。

〔立会人立ち会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、略称、集計結果、そして順位の順に申し上げます。

2番	東書	30票
46番	帝国	25票
17番	教出	23票
35番	清水	20票
116番	日本文	19票
225番	自由社	18票

以下2者については同じ票数でございます。

227番	育鵬社	17票
229番	学び舎	17票

以上のとおり中学校社会（歴史的分野）の教科書図書は、2番、東書を採択することに決しました。

中学校社会（公民的分野）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 社会（公民的分野）の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） それでは、社会科公民の教科書についてご説明させていただきます。

東京書籍につきましては、1 単位時間の紙面を、導入資料、学習課題、本文、確認の流れで構造化されており、学習内容の確実な定着が図られるようになっております。各章の導入とまとめの部分で、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーションといった多様な言語活動が行えるよう工夫されております。また、環境・エネルギー、防災・安全、人権・平等など、今日的な課題解決のための意識と態度を育てるために、その解決や身近な生活でできることを話し合うなど、きちんと考えることができるよう工夫されております。

教育出版につきましては、各時間のまとめとして設けられている「振り返る」でステップ 1 とステップ 2 があり、段階的に表現活動に取り組めるようになっております。章末の「学習のまとめと表現」では、基礎的事項の確認や社会事情についての説明や話し合いなど、言語活動に段階的に取り組めるようになっております。また、「読んで深く考えよう」、「言葉で伝え合おう」の 2 種類のテーマ学習を設け、個に応じた学びへの対応が工夫されております。終わりの章、「私たちにできること」では、持続可能性を妨げる今日的課題とその解決について探求できるように工夫されております。

清水書院につきましては、公民学習の導入として、「学習の初めに」を設け、「公民って何だろう」と生徒に問いかけることで生徒の関心を喚起するように配慮されております。1 時間の内容を見開き 2 ページで示すことを原則として、各時間の学習課題が最少に示され、問題意識を持って学習が進められるようになっております。また、特設ページの「もっと知りたい公民」、「深める公民」を各所に配置して、本文の内容を補完するとともに、本文の内容を多面的、多角的に考察することに役立て、作業学習、調べ学習等の助けとなるように工夫されております。

帝国書院につきましては、見開きのページが、「クローズアップ」、「学習課題」、「資料活用」、「確認しよう」、「説明しよう」という配置になっており、わかりやすい構成となるよう工夫されております。「トライアル公民」で自分自身の意見をまとめたり話し合ったりする題材が用意されており、言語活動の充実が図られるようになっております。また、羅針盤マークのコラムにより、未来社会をつくるために参考となる取り組みを紹介し、自分自身も社会の一員として公共の精神を持ち、主体的に社会形成に参画する責任があることを実感できるよう工夫されております。

日本文教出版につきましては、各時代の学習課題が最初に示され、問題意識を持って学習が進められるようになっております。最後に、まとめとして、「確認」と「活用」の問いがあり、学習

のポイントが確実に定着するよう工夫されております。アクティビティーが適宜配置されており、思考力、判断力、表現力の育成が図られるよう工夫されております。また、特設ページ、「あすに向かって」、「情報スキルアップ」で生徒の将来につながる内容を取り上げ、学習への関心や意欲、知識の定着につなげる工夫をしております。

自由社につきましては、1時間の内容を見開き2ページに示すことを原則として、各時間の学習課題が最初に示され、問題意識を持って学習が進められるようになっております。各章の最後には、「学習のまとめと発展」があり、各章で学習したことを再確認し、さらに発展的な学習へと進んでいけるよう工夫されております。また、国際社会の問題について、「読み物資料」、「もっと知りたい」でより深く理解させ、話し合い、ディベート、レポート作成によって自国をよい国にしていき、各国の主権尊重と相互協力の大切さを考えるよう工夫されております。

育鵬社につきましては、見開きごとに「学習課題」、「学習のまとめ」があり、毎時間の学習の中で言語活動の充実が図れるようになっております。「やってみよう」にチャレンジすることで、思考力、判断力、表現力を高め、ディベートやプレゼンテーションのスキルを身につけることができるよう工夫されております。また、持続可能な社会をつくるための教材が充実しております。日本と世界の環境問題等につきまして、豊富な教材により歴史的な事象や海外との比較で考えることから、生命をとうとび、自然を大切に、環境保全に寄与する態度が養えるよう工夫されております。

以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それではまず、選定委員としてどの教科書を推薦するか、ご報告をお願いしたいと思います。

齋藤選定委員長（増林小校長） 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が7種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、70点、17番、教育出版、50点、35番、清水書院、43点、46番、帝国書院、54点、116番、日本文教出版、40点、225番、自由社、37点、227番、育鵬社、37点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、70点の東京書籍、54点の帝国書院、50点の教育出版を推薦いたします。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますか。

堀川委員。

堀川委員 現在、東京書籍を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会では各学校からの実績などの話題でどのようなことが挙がっておりますでしょうか。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） 各学校からの報告書によりますと、市内15校全ての中学校が、現在使用している東京書籍が適正であると答えております。理由といたしましては、資料が豊富に用意されていることが挙げられます。本文の量とのバランスもよく、生徒にとって学びやすく、教師にとっても授業を構成しやすい教科書であるとのことでした。

吉田教育長 他にございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 現場の先生方から使用しづらい等のご意見はありましたでしょうか。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） 学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、特に使いづらいなどの意見はございませんでした。

吉田教育長 荒木委員。

荒木委員 選定委員会ではこの他にどのような話題が出ましたでしょうか。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） 地理的分野、歴史的分野と違う教科書になってしまった場合はどうかという意見がございましたが、授業の進め方は違ってきますが、内容的には大きな違いがないではないか、大丈夫ではないかということです。また、「公民とは何だろう」ということが教科書の冒頭で述べられているものと最後に述べられているものがあるというご意見をいただきました。それにつきましては、教師がしっかりと最初に示し、最後にまた振り返ることが必要であるということが挙げられておりました。

以上でございます。

吉田教育長 他によろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

現在使用している社会（公民的分野）の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

渡辺委員。

渡辺委員 適正と答えていらっしゃる多くの学校が、写真やグラフの資料が豊富でわかりやすいということが主な理由だったと思います。これは、生徒の公民に対する興味関心を高める構成になっているという点でも大変よいというふうに感じております。また、教科書のほうに話し合い活動のテーマが多く掲載されていたので、中学生が公民の学習を進めるに当たって、ふさわしい教科書ではないかと思います。

以上です。

吉田教育長 私もそう感じているのですけれども、例えば38ページを開いていただくと、38、39ですけれども、上の資料で右側のほうに憲法の章立てが載っていて、それをいきなり文字で関連づけるのではなくて、このA、B、CからLまでの写真を載せて、どの章と関係深いかなと見させているところから書いているという、こういうやり方でしょうか。天皇制について、それから平和主義について、あるいは選挙、それから国会、Eは内閣ですね、Fで司法について。右側へ行くと三権分立についてとか、これはどこでも載っていますけれども、こういうやり方をする。あるいは簡単な年表が載せてあって、歴史とのかかわりを見させるというようなところ。立憲主義については、君臨すれども統治せずみたいなもの、わかりやすいような絵が描かれているかと思うのですけれども、これはここには同じように課題と本文でまとめが出てくるわけですから、先ほどは教科書としてどうなのかという選定委員会の話もありましたけれども、授業の流れのつかみやすさについては、適切でわかりやすい、地理的分野に、あるいは歴史的分野と同じような工夫がされているというふうに私も感じております。渡辺委員と同じようなことを言っているということでもよろしいですかね。

他にございますか。

荒木委員。

荒木委員 この公民分野でも各章の初めに写真を大きく使って、小学校の学習とのかかわりが掲載されています。あと、地理的分野、歴史的分野とのかかわりがあって、既習事項と関連して学びを深めることができるという意見もございました。社会の教科書が同じであることが子どもへの学びの効果も高まるのではないかと感じます。

吉田教育長 他にございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、今までもお話出ていましたけれども、やはり地理とか歴史とかの関連もあって効果的ではないかなということ、それと見開き2ページでやはり同様にまとめられているというところもいいのかなというふうに思います。少し着目したのが「深めよう」という学習があるのですけれども、例えば、東書の50ページ、51ページで、「共生社会と私たち」ということで、人権に関する作文など、少し長いのですが載っている。そして、66、67あたりでは「アイヌ民族と先住民族の権利」ということも載っておりまして、人権に関する内容について深めていきたいというような趣旨も出ているのかなというふうに思います。ややもすると形式的に学習しがちですけれども、子どもたちの心に届くような、響くような内容も取り上げていて、人権の世紀と言われているので、こういったところもいいのかなというふうに思いました。

それから、もう一方で、182、183ページあたりには日本のエネルギー政策のこれからということで、日本にとっては、エネルギーは大きな問題だと思うのですけれども、いろんなさまざまな

意見があることは、報道等でされているかと思うのですけれども、こういったことにやはり興味関心を持たせていくということが教育に携わる者の使命なのかなというふうに思います。こういった取り上げ方も非常に適切なのではないかなというふうに思いました。昨今、この前の参議院選挙等を見ていると、投票率が下がっているとか、社会的関心が少し薄まっているのかななんていうふうに感じる場所があるのですけれども、こういった教科書をきちんと活用して、公民的資質を向上させていくことは、本当に大切なことなのではないかなというふうに思っています。各会社さんともそういった意識で取り組んでいらっしゃるのによくわかりましたし、またこれからはこういうのを活用して、現場のほうでもしっかりと取り組んでもらいたいものだなということも少し感じております。ややもすると、未来のことをしっかり考えさせているかなという、少し不安になることもあるのです。高齢化、高齢化と言われていて、ではどうすればいいのだということをしっかり考えられる子どもたちを育てていくという意味では、公民的分野というのは非常に大事になってくるのではないかと思いますので、こういった教科書会社の工夫を、また現場でもぜひ生かしてもらえればなというふうに思いました。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 他になければ、その他の教科用図書についてのご意見でもお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 今も話題に出てきましたけれども、それぞれの出版社がそれぞれに現代的な課題を取り上げたり、あるいは身近な問題を取り上げたりしてさまざまな工夫がされているなと感じました。例えば教育出版などでは、各章末に学習のまとめと表現が設定されて、規則的事項の確認や話し合い活動に取り組めるようになっていて、学びを深める指導ができるように工夫がされているなと感じました。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。

堀川委員。

堀川委員 帝国書院さんでは、見開きのページに「クローズアップ」、「学習課題」、「資料活用」、「確認しよう」、「説明しよう」などが配置されて、わかりやすい構成になっているなと思いました。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですが、他に協議したい内容はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 育鵬社さんの教科書もやはり見開きページになっていて、必ず学習課題がありまして、生徒としては、今日は何を勉強するのだという課題がわかっていいなというふうに思いました。それと、同じく教科書の最後に「テーマを決めてレポートを作成しよう」ということで、公民を勉強し終えた後にレポートにまとめるという課題があつて、それも力がつくのではないかというふうに思いました。

以上でございます。

吉田教育長 先ほどのつけ足しということですね。

渡辺委員 はい。

吉田教育長 視点を変えた、別な形での協議とかということはございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それでは、ないようですので、これより社会（公民的分野）の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、各委員は順次投票をお願いします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、渡辺委員、それから野口委員を指名いたします。

〔立会人立ち会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

発行者番号、略称、票数の順で、票の高い順から申し上げます。

2番	東 書	30票
46番	帝 国	24票
17番	教 出	23票

以下の発行者については全て同じ票数になります。

35番	清 水	18票
-----	-----	-----

116番 日 文 18票

225番 自由社 18票

227番 育鵬社 18票

以上のとおり中学校社会（公民的分野）の教科用図書は、2番、東書を採択することに決しました。

中学校地図の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 地図の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） それでは、社会科の地図についてご説明させていただきます。

東京書籍につきましては資料が豊富で、配置に統一があります。世界と日本とに大きく分けられ、それぞれ一般図、全体の資料、世界の各種日本の各地方との基礎・基本資料、テーマ資料とに資料構成され、資料補足のコメントが資料の見方や考え方などを深めるものとして配置されております。また、世界の各地方鳥瞰図があり、地形の特色をイメージしやすいように工夫されております。さらに、日本の自然環境の災害、環境問題のページでは、災害の種類や分布など、わかりやすい資料も充実しております。

次に、帝国書院につきましては、資料が豊富に用意され、色が鮮明で、区分けがはっきりしております。日本の災害と防災のページでは、災害分布は色分けで示され、災害の具体的対策などが読み取ってわかるように工夫されております。また、日本の中心都市や各地方区分の分野で代表的な建造物や特産物などの挿絵があり、特色がつかみやすくなっております。さらに、東西を結ぶ交通路として五街道が紹介されており、街道の今昔や名所などの記載があり、地形との比較も行えます。中国、ヨーロッパ、北アメリカの地図では、生活、産業、著名な建造物などのイラストが配置され、鳥瞰図から地域の特徴をより視覚的に読み取れる配慮がなされております。

以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それではまず、選定委員としてどの教科書を推薦するか、お話しいただければと思います。

齋藤選定委員長（増林小校長） 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、56点、46番、帝国書院、68点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、68点の帝国書院、56点の東京書籍を推薦いたします。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 現在、帝国書院を採択して4年間使用しておりますけれども、選定委員会では各学校からの実績などの話題でどのようなことが挙がっておりますでしょうか。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） 各学校からの報告書によりますと、市内15校の中学校が、現在使用している帝国書院が適正であると答えております。多い理由といたしましては、資料など情報量が多く指導しやすい。地図が見やすく、生徒も地図を活用することができるなどの意見がありました。使用実績報告書では、帝国書院が適正であるものの、教科書と同じ東京書籍でもよいのではというご意見もいただいております。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますか。

進藤委員。

進藤委員 現場の先生方が実際使用していて、特に使いづらい等というご意見はありましたでしょうか。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） 学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、特に使いづらいなどの意見はございませんでした。

吉田教育長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 教科書、今使っているのが東書ですよ。東書でもよいのではという意見もございましたということでしたけれども、もうちょっと何かつけ足せるものありませんか。なければいいのですけれども。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） 教科書とのタイアップ、やっているところの資料とのタイアップで、同じ東京書籍のものを使えば同じような資料で考えられるというところの意見が出たと考えております。

吉田教育長 同じようなものも帝国でも扱ってはいるけれども、より関連が深いだろうと、そういう意味での使いやすさはあるかなということが出たということよろしいですか。

鈴木選定委員（蒲生第二小校長） はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になれば質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

現在使用している地図の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員 鳥瞰図などもあり、各種の地図が系統的に配列されていて、生徒が探しやすく見やすい地図であるという報告がされております。社会科の学習を進めていく上で十分な資料が用意されていると感じました。

以上です。

吉田教育長 私も同じようなのですが、大きな違いはないものの、報告書では見やすさとか、あるいは資料の豊富さとか、あるいは内容について、具体的には他の授業での活用のしやすさとか、先ほど堀川先生からも出ましたけれども、鳥瞰図のよさについて言及しているものが多かったかなというふうに思いました。

他にございますか。

荒木委員。

荒木委員 今、教育長がおっしゃったのですけれども、色使いを含めて地図の見やすさを挙げていた意見もありました。授業で必要な地図が収録されているという意見もありました。見やすく扱いやすい地図であると感じました。

吉田教育長 他にございませんか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、教科書との整合性ということで、東書のほうでもよいのでは、という意見もあるのは当然かなというふうに思っているところなのですけれども、帝国書院のほうで、先ほど教師から、慣れもあるのではないかなという意見もあったような話も出てきましたけれども、教員も恐らくかなり長いのですよね。ずっと帝国書院を使っているのも、その辺の慣れというのも結構大きいのかなというふうに思います。特徴としまして、先ほど部会長さんからもありましたけれども、例えば帝国書院の場合は、103ページ、104ページあたりを見ますと、昔の街道と今の様子が比較できるような工夫がされているのです。これも鳥瞰図で、立体感もあるような地図で、そういった昔との違いをわかりやすく表しているのがいいなと。103、104ページあたりです。

それから、もう一つが、120ページですか、江戸湾という地図が載っているのですけれども、そこに江戸末期のころの東京の様子が載っているのです。そこに、今はレジャーなどで行くような形になっているかもしれませんが、お台場の昔の様子が載っていたりとか、やはり子どもたちにその土地土地に歴史があるのだぞということも理解してもらいたいなというふうに思いますので、こういったところも一つ工夫としてあるのかなというふうに思っているところです。歴

史の学習なんかでも関連づけて使えるのかなというふうに思いますし、将来、結構地図帳はうちにとっておいて、大人になっても使うものですので、そういったところでもいいのかなと。私もずっと中学校のときの地図帳をしばらく持っていて、うちで何かのときに見たりして使った記憶がありますので、こういった昔のことが載っているとまたいいのかなというふうに少し感じました。そういった意味でも、また学校の現場での声も含めると、使いやすいというのもうなづけるなというふうに思っているところです。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、もう一つの教科用図書についてご意見をお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 先ほど来話題に上っていることなので、繰り返しになってしまうかもしれませんが、各学校からの報告書において、現行の使用図書の適正さを否定するというわけではありませんけれども、社会については、地理、歴史、公民と東書などで地図も東書とすると互換性、あるいは整合性というのが保たれるので、悪いわけではないのではないかというふうな意見もございました。考えようによっては、もしかしたら一理あるのかなというふうにも思いました。しかしながら、地図帳の上において、他の科目の教科書を引用しているという部分も見当たりませんでしたし、また逆に各教科書において特定の会社の地図帳を引用している部分もありませんでしたので、その互換性あるいは整合性というのも絶対必要なものでもないのかなというふうな気もいたしました。

帝国と比べて東書の特徴として私が感じたのは、資源エネルギーと産業開発の資料は、帝国に比べて東書のほうが多いかなというふうに思いました。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それでは、別な観点から協議したい内容はございますでしょうか。これもよろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより地図の教科用図書にかかわる採択に入ります。

選定委員の先生方、ご苦労さまでした。ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計点が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、各委員は順次投票をお願いします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、堀川委員、それから進藤委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、略称、票数の順に、得票の多い会社名から申し上げます。

46番 帝国 30票

2番 東書 25票

以上のとおり中学校地図の教科用図書は、46番、帝国を採択することに決しました。

◎休憩の宣告

吉田教育長 それでは、午前中の審議はここまでとし、暫時休憩といたします。

次の中学校理科については、13時から再開することといたします。

休憩 午前11時36分

再開 午後 1時00分

◎開議の宣告

吉田教育長 休憩前に引き続き会議を始めます。

中学校理科の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明の等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 理科の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

澤田選定委員（西方小校長） 失礼いたします。理科部会の澤田でございます。よろしくお願いいたします。それでは、各社についてご説明を申し上げます。

初めに、東京書籍、東京書籍につきましては、学習指導要領の教科の目標とのかかわりにつきましては、写真を多数用いて生徒の興味関心を高める工夫がされております。また、目的意識を

持って観察、実験を行うために、観察あるいは実験の目的欄が設けられています。また、結果と考察を科学的に表現することで言語活動の充実が図られるようになっております。

次に、内容につきましては、小学校や既習事項とのつながりが示されていること。また、4つの概念、小学校で言うところのエネルギー、粒子、生命、地球、これは物科生地の4つの概念との関連性が示され、系統性を意識して学習ができるようになっております。

資料につきましては、本文の周囲に実験結果の写真などを配置して、結果を再確認しながら結論がまとめられるような工夫が見られます。

表記・表現につきましては、文字の大きさが1年生では大きくなっており、小学校とのギャップが少なくなっております。また、ユニバーサルデザイン書体が使われて読みやすくなっております。

総括として、巻頭で問題解決学習を踏まえた学習の流れが示されている工夫が見られます。また、単元に1カ所、特にじっくり探求してほしい内容を示し、探求のレベルアップを図ろうという特徴がございます。

続きまして、大日本図書でございます。まず、学習指導要領の教科の目標とのかかわりにつきましては、原理や法則の理解を深めるものづくり、継続的な観察、自然体験や科学的な体験、さらに日常生活での体験等の活動を重視しております。

内容につきましては、生徒個人の主体的な探求のために「思い出そう」が設定されているところが特徴でございます。さらに、「やってみよう」等を通して自然に対する総合的な物の見方が養えるようになっております。

資料につきましては、実験のまとめは写真、イラストで示してあり、その間に解説があり、思考の流れに沿って書かれております。「トピック」、「暮らしの中の理科」、「発展」、「プロフショナル」等、身近な科学や科学と進路と関連的な内容を写真等を使い興味関心を高める工夫をしています。

表記・表現につきましては、振り仮名やコラムの初回にはユニバーサルデザイン書体を使用しております。吹き出しの改行位置が文末や単語で区切られ、読みやすくなっております。実験後に「実験の結果」、「結果からわかること」の見出しがあり、どこを見れば結果が確認できるのかわかりやすくなっているという特徴がございます。

総括として、単元の見通しを持つことや、課題をつかみ観察、実験をすること、「考えてみよう」では、観察、実験結果をもとに考察し、話し合いながら原理や法則を探求していく活動を取り上げられています。レポート例を掲載して、主体的な表現活動ができるようにしております。さらに、発表の場面を示して積極的な言語活動を促す工夫が見られます。

続きまして、学校図書です。学習指導要領の教科の目標とのかかわりにつきましては、観察、実験の課題をクエスチョンマークで示し、目的をはっきり意識できるようになっております。結

果と考察を分けて示すことで、その違いを意識させる工夫がされております。また、「話し合ってみよう」では、身近な事象に対する疑問について、対話的な活動を取り入れる工夫がされております。

内容につきましては、単元の初めに「これまで学んできたことをチェックしよう」があり、また章の初めでも具体的な既習事項が確認でき、これから学ぶ内容との関連性を意識させ、系統性がわかるよう工夫されております。単元末には学習のまとめ、単元末問題があり、問題演習を通じて復習ができ、知識の定着を促す工夫がございます。

資料につきましては、章の1ページ目にはこの章での課題とこれまで学んできたこと、そして既習事項の確認が記載されております。また、「科学のまど」には、これまで学習した内容と日常や社会との関連性について記載し、単元末には「科学を仕事に生かす」があり、進路学習と関連させて興味関心を高める工夫がされております。越谷市に関する写真資料が多く用いられているという特徴もございます。

表記・表現については、学習内容の見出しには三角の記号がつけられており、把握しやすい工夫がされております。文字や図はユニバーサルデザイン化に配慮したつくりとなっております。

総括として、巻頭で「観察、実験の進め方」が示されており、生徒が目的意識を持って観察、実験に取り組めるようになっております。既習事項を活用する問題や理由を言葉や図で説明する場面では、活用、表現マークが設けられております。「話し合ってみよう」では、課題解決や内容理解のために自分の考えを話したり、他の意見を聞いたりするように促しております。

次に、教育出版でございます。学習指導要領の教科の目標とのかかわりについては、観察、実験の前には「話し合おう」や「考えよう」が設定され、仮説や予測の設定、実験計画の立案などが円滑に行えるようになっております。また、結果と考察を分けて示すことで、その違いを意識させる工夫がされております。

内容につきましては、単元の初めに学んでいくことが示され、既習内容、他学年との関連性も示されております。気づき、思考の接続が図られるように「思い出そう」というマークで既習事項を示す工夫がされております。また、章ごとの要点チェックとして、基礎・基本問題、活用応用問題が設けられております。

資料につきましては、巻頭にある理科の進め方には、問題意識の持ち方や実験、観察の方法などがイラストを使って示されております。「ハローサイエンス」のコーナーでは、生活にかかわる科学や発展的内容等について、写真とともに詳しく解説してあり、興味関心を高める工夫がされております。

表記・表現につきましては、重要語句については太字の赤字で記載されております。また、課題についてはクエスチョンマーク、結果はレ点マークで示してあり、問題解決の流れに沿った展開となっております。ユニバーサルデザイン化として判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、

文字などを使用して理解しやすい工夫がされております。

総括として、巻頭で理科学習の進め方を載せ、探求活動を一連の流れに沿って展開できるように示しております。観察や実験の前には必ず課題を示し、さらに観察や実験の内容に応じて「話し合おう」や「考えよう」を設定しております。観察、実験の結果をもとに分析、解釈する能力が身につくように結果と考察を分け、考察において論理的な説明ができるように工夫しております。

啓林館でございます。学習指導要領の教科の目標とのかかわりにつきましては、学習課題、考察活動、観察、実験、本文による一般化と展開し、順序立てて見通しを持ちながら考える力、論理的に考える力、判断する力が養えるよう示しております。また、結果と考察を分けて示すことで、その違いを意識させる工夫がされております。「ためしてみよう」で身近な事象について対話的な活動を取り入れております。

内容につきましては、小中の連携にかかわる関連性を重視し、単元の初めに振り返りができるようにしております。「観察、実験」においては、目的意識を持って取り組めるよう目的が設定されております。また、「マイノート」では、基礎・基本の十分な習得を目指し、読んで考えて書き、実際に活動できる、理解できるような工夫がされております。

資料につきましては、サイエンストラベラーで学習した内容に関する地域の特産や観光地などについて触れ、興味関心を引く工夫がされております。また、マイノートにもカラーのイラスト、写真を使い、生徒がまとめられやすいようになっております。

表記・表現につきましては、課題にはクエスチョンマークがあり、さらに具体的に考える視点について、「考えてみよう」という見出しで課題が明確になる工夫がされております。

総括として、巻頭で課題解決の流れを示し、見通しを持つ力、論理的に考える力、判断する力を養えるようにしております。ICTを活用する中で根拠を持って予想する場面、結果や事実をもとに考える場面、クラス内で話し合い、共同学習する場面を設定し、思考の広がりや深まりとともに、科学的に探求する能力の基礎を身につけられるよう工夫されております。

以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それではまず、選定委員としてどの教科書を推薦するか、お話し願えればと思います。

齋藤選定委員長（増林小校長） 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員15名全員が5種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、

無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、59点、4番、大日本図書、48点、11番、学校図書、73点、17番、教育出版、49点、61番、啓林館、55点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、73点の学校図書、59点の東京書籍、55点の啓林館を推薦いたします。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 現在、学校図書を使用しまして4年間がたっていると思うのですが、選定委員会のほうでは各学校から実績等の話題でどのようなことが挙がっていますでしょうか。

澤田選定委員（西方小校長） 各学校からの報告書によりますと、市内12の中学校が、現在使用している学校図書が適正であると答えております。理由といたしましては、写真や図、イラストがわかりやすく、生徒が視覚的に理解することができ、それらの資料と文章のバランスが適切に構成されている。「チャレンジ」や「話し合ってみよう」と、生徒の思考力を問う、養う発問が設定されている。埼玉県や越谷市にかかわる写真や事例が紹介されており、身近な話題として取り上げることができる等のご意見がございました。

資料等につきまして、写真等につきましては、実はこの越谷市のことについて取り上げているのは学校図書だけではございませんで、東京書籍、それから啓林館等についても竜巻の写真等の扱いはございます。しかしながら、学校図書におきましては、1年生の音の性質のところのトップの写真で越谷市の中学生の吹奏楽の演奏、そして3年生では1日の太陽の動き、これはリユースと野球場をバックに、太陽がどのように動いていくかというふうな写真等も載せられており、非常に身近な教科書というふうな形で評価が高かったのではないかと思います。

以上です。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 現場の先生方が現在使用していて、使いづらいなどの意見はありましたでしょうか。適正ではないと答えた学校が3校ございましたけれども。

澤田選定委員（西方小校長） 確かにございました。この内容を精査してみましたところ、火成岩の扱いについての表記がございました。火成岩につきましては、火山岩、深成岩、それぞれ3種類、合計6種類の岩石を扱うのですが、その配置の仕方が、横に配置されている教科書と縦に配置されている教科書がございます。学校図書につきましては横に配置されておりまして、横に配置されている教科書が3社ございます。縦に配置されている教科書が2社ございました。そのあたりでもしかすると違和感を感じられた先生がおいでになったのかもしれませんが。しかしながら、内容的には全く問題がないというふうな形で選定委員会でも話し合いが行われました。

以上です。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

現在使用している理科の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

渡辺委員。

渡辺委員 現在使用しております教科書におきましては、単元の初めに「これまでに学んできたことをチェックしよう」というところがございます、小学校からの学習の系統性が押さえられて、かつ新しいことを学ぶこと、そこから新しいことを学ぶことができ、生徒さんにとってとてもよいのではないかというふうに思います。

それと、巻頭の「観察、実験の進め方」というのが大きく載っておりまして、とてもわかりやすいなというふうに思いました。

以上でございます。

吉田教育長 他に。

堀川委員。

堀川委員 単元末にあります学習のまとめでは、問題演習を通して復習もできるようになっており、知識の定着を促しています。学力の向上という面でも効果的ではないかと思いました。

以上です。

吉田教育長 荒木委員。

荒木委員 「科学のまど」では、学習した内容と日常や社会との関連について掲載されていて、学んだことが教室の中だけでなく、実際の生活にもつながっていることを実感できる工夫がされていると感じました。

以上です。

吉田教育長 ただいまの荒木委員に関連してなのですが、こちら中学校の科学2年、2年の科学の学校図書のほうなのですが、87ページの「科学のまど」では、先ほど日常生活云々ということで、荒木委員さんのほうから話ありましたけれども、ここでは電気製品のつながり方とかブレーカーの働き、これが示されております。それと、269ページでは、先ほど選定委員のほうからも話ありましたけれども、気象による災害や恵みということで、埼玉県越谷の2013年9月の竜巻が挙げられております。こういった日常生活のかかわりを通して科学を学ぶ大切さ、これが実感できるように工夫されていること。したがって、報告書にはこれらについての言及していることが多く見られたのかなというふうに思います。

野口委員。

野口教育長職務代理者 先ほどからお話がありましたように、竜巻については2カ所、2年生とそれから3年生も、255ページですか、3年生のほうにも学図のほうでは出ているのですよね。それに加えてすぐ隣の春日部にある首都圏外郭放水路についてもこれ掲載されているということで、親しみを持ちやすいのかなということで、選定委員会の中でもそういうお話が出たのかなというふうに思いました。大変子どもたちにも親しめているのかな。そして、先ほど出ていましたように、1年生のほうでは吹奏楽の写真が大きく出ていて、ちょっと越谷市民としては、誇らしい感じがありまして、たしかそれやっていることが恐らく受け入れられているのかなというふうに思うのですけれども、それとあわせて、理科の全体として学力の向上ということが大分強く打ち出された関係からか、各会社とも巻末の練習問題とか非常に充実しているのだなということを改めて見せていただいていたと思います。特に学校図書のほうでは、単元の学習のまとめとか単元末の問題、あるいは「活用しよう」ということで、学習内容の振り返りとか、それから定着が図れる、先ほど他の委員さんからも話がありましたけれども、そういった内容も大分充実させていて、どこも絵やイラスト、画像とか多く取り入れているのですけれども、非常にバランスがよくて適切なので支持されたのかなというふうに思います。単元の流れ等も恐らく現場では適切だったのだなということを感じさせていただきました。

私からは以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、その他の教科用図書についてのご意見もお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 東京書籍は情報量が多いのですが、レイアウトが工夫されていてよくまとまっていると感じました。単元の配列もわかりやすいものになっています。また、単元の最後のところに「学びを広げよう」という項目がありまして、これによって自由研究の課題等の例示数が大分多くなっていて、他の出版社と比べても非常に突出して数が多いなということが目を引きました。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 啓林館なのですけれども、資料や写真が豊富で内容も充実していいなというふうに感じまして、特に別冊のマイノートなのですけれども、これは自習、実験を行ってそれをまとめるときに、生徒さんが工夫しなくてもそれを見れば手順もわかって、とてもよいなというふうに感じました。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですが、他に協議したい内容はございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ないので、これより理科の教科用図書にかかわる採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、各委員は順次投票をお願いします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、荒木委員、それから渡辺委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、略称、票数について、票数の多い順に申し上げます。

11番 学 図 29票

2番 東 書 28票

61番 啓林館 25票

残りの発行者については同じ票数となります。

4番 大日本 18票

17番 教 出 18票

以上のとおり中学校理科の教科用図書は、11番、学図を採択することに決しました。

中学校数学の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 数学の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

尾板選定委員（平方小校長） それでは、数学の教科用図書についてご説明させていただきます。

数学の教科書は7社ございまして、お手元にございます調査報告書、観点1の学習指導要領の教科の目標とのかかわりにつきましては、どの教科書におきましても十分な工夫がございました。

具体的な例としましては、(1)の理解を深めるための工夫としまして、例えば行列ができているポップコーンを買うのにかかる時間は。あるいはプールに水を入れるのに伴って変わる数量は何などの身の回りの事象につきまして、各社とも単元の導入に取り上げていることが挙げられます。加えて、単元内や章末の練習問題も十分に用意され、万が一生徒が解き方に迷った際に、どのページを振り返ればよいかが表示されており、自力解決のための手助けが各社ともに用意されております。

また、(2)の事象を数的に考察し、表現する力の育成のためには、規則的に並べてあるマッチ棒の本数を数える問題や、数学の世界で唯一計算ができないとされている割るゼロの計算など、多様なアプローチによる思考が可能で、生徒の話し合い活動を促す課題が多く設定されております。

また、(3)の数学のよさの実感につきましては、「渋滞をなくすには」、「タッチパネルの仕組み」、「マンホールのふたはなぜ丸い」等の題材が章末や巻末、あるいはコラム的に用意されており、生徒の興味関心をさらに高め、数学を学ぶ楽しさや有用性を実感できるよう各社とも配慮されております。

したがって、この後の各社の特色や独自の工夫につきましては、報告書の観点2以降についてご説明させていただきたいと思っております。

では、まず東京書籍です。内容につきましては、全学年の目次に小学校や前学年との関連性が記載されており、特に1学年の教科書巻末には算数の振り返りとして、約分から通分から始まる基本技能や面積などの公式がまとめられ、生徒が自分の理解の状況を確認することができるようになっております。また、全学年の巻末に補充の問題があり、基礎・基本の定着を図ることができるようになっております。

資料につきましては、興味関心が高まるよう身近な内容を取り上げ、図や書き込みのできる表も多数用意されております。特に反比例のページでは細かな目盛りが用意されており、正確なグラフの作成を助けています。

表記・表現につきましては、ユニバーサルデザインフォントを採用しており、例題や問いで囲み方や色を区別するなど、見やすい工夫がされております。総括としましては、学び合いのコーナーで紙面が工夫されており、その中で数学的な考え方や表現力が伸ばせるようになっております。また、全学年ICTの効果的な活用場面が示されており、教科書以外の教具を利用した理解を助けるアイデアが盛り込まれております。

次に、大日本図書でございます。内容につきましては、全学年の目次に小学校や前学年との関連が記載されております。第1学年の巻末には小学校の復習があり、小学校の学習内容を確認す

ることができます。また、巻末にまとめの問題があり、その学年での学習内容を振り返ることができます。資料につきましては、各章の扉や各節の導入問題に絵や写真を多く使用しており、図や書き込みのできる表が多数用意されております。

表記・表現につきましては、ユニバーサルデザインフォントを使用しており、例題や問いで囲み方や色を区別するなど、見やすい工夫がされております。

総括としましては、ノートづくりやレコードの書き方、問題づくりで説明し、話し合い活動や、互いの考えを出し合う活動を取り入れており、話し合い活動がしやすい教科書となっております。また、「思い出そう」としまして、不等号や計算の決まりなど、各所に既習事項の振り返りが用意され、生徒の思考の手助けをしております。

次に、学校図書でございますが、内容としまして、全学年の目次に小学校や前学年との関連が記載されております。巻頭に数学で使われる考え方があり、小学校や前学年の学習内容を例に取り上げ、具体的に類推、帰納、演繹の考え方を示してございます。

資料としましては、各章の扉に身近な内容の導入問題があり、絵や写真を多く使用しております。文章問題や応用問題には図や表も多く、生徒の理解を助けております。巻末の切り取り教具は、他社の多くが正多面体の立体模型を用意しているのに対し、発展学習的内容についても補助教具を用意してございます。

表記・表現としましては、ユニバーサルデザインの視点を取り入れてつくられており、例題や問いで囲み方や色を区別するなど、見やすい工夫がされております。

総括としましては、各単元に入る前に振り返りのページとして、小学校から今までの学習を領域単位で振り返ることができるようになっており、身近な問題を取り上げ、思考力が身につくよう工夫されております。

次に、教育出版でございます。内容につきましては、各章の最初に「学習する前に」のコーナーがあり、小学校や前学年で学習した内容を確認できるようになっております。また、各節の終わりに「基本の確かめ」があり、巻末にも確かめの補充問題がございます。

資料としましては、各章の扉に単元の学習内容につながる写真があり、導入問題にも絵や写真を多く使用しております。また、文章問題や応用問題では図や表が多く用いられております。

表記・表現としましては、カラーユニバーサルデザインに配慮されており、例題や問いなどで囲み方や色を区別するなど、見やすい工夫がなされております。

総括としましては、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする場面が多く設定されており、小学校からの既習事項を取り上げ、系統性をわかりやすく説明することで、基礎・基本の確実な習得を目指していることがわかる構成となっております。

次に、啓林館でございます。内容としましては、7社の中で唯一別冊のマスナビブックが用意されており、小学校や前学年の関連する内容を細かに確認することができるようになっております。

す。また、目的に応じて確認や提示をすることができるようになっております。

資料としましては、各節の導入問題に身近な内容を取り上げ、大き目の絵や写真を多く用いております。文章問題や応用問題でも図や表を多用しております。

表記・表現としましては、ユニバーサルデザインに配慮されており、例題や問いで囲み方や色を区別するなど、見やすい工夫がされております。

総括としましては、巻末の「数学の広場」の中に「ICTの窓」があり、コンピューターを活用した学習活動が行えるようになっております。また、問題数が豊富で、2冊構成にすることにより教科書で学んだ内容を活用できるよう工夫されております。

次に、数研出版でございます。内容につきましては、各学年の巻頭にクイックチャージとして、小学校や前学年で学んだ内容を振り返ることができるようになっております。

資料としましては、各章の扉に身近な内容の導入問題があり、絵や写真を多く使用しております。文章問題や応用問題では、図や書き込みのできる表を多く用いております。

表記・表現としましては、カラーユニバーサルデザインに配慮した配色が用いられており、例題や問いで囲み方や色を区別するなど、見やすい工夫がされております。

総括としましては、「伝え合おう」のコーナーに数学的な表現を使い、自分の考え筋道立てて説明し、相手に伝えるという内容が含まれ、言語活動の充実につなげております。

最後に、日本文教出版でございますが、内容としましては、全学年の目次に小学校や前学年との関連が記載されており、各章の前に「学ぶ前に」のページが用意され、小学校や前学年の学習内容を確認することができるようになっております。巻末の「算数を振り返ろう」では、つまづきが予想される内容について丁寧な回答が記載されております。

資料としましては、各章の扉に身近な内容の導入問題があり、絵や写真を多く使用しております。文章問題や応用問題では、図や書き込みのできる表を多く用いております。

表記・表現としましては、カラーユニバーサルデザインに配慮されており、解答例はノート形式で書かれております。例題や問いで囲み方や色を区別するなど、見やすい工夫がされております。

総括としましては、電子黒板を使って話し合う場面や、パソコンの表計算ソフトを活用する場面を示すことでICTの活用について促しております。また、「話し合おう」として、みんなで話し合って解決する課題が示されており、基礎的な問題を多く取り上げるなど、十分な定着を図れるよう工夫されております。

各社の説明としては以上となりますが、1年生の正の数、負の数の単元のマイナス掛けるマイナスはプラスになるの部分につきまして、7社のうち6社が人や車が移動する際の速さ掛ける時間は道のりの関係を用いて説明しているのに対し、啓林館は計算の規則性、あるいは数直線上の矢印をもってベクトルの的に説明している等、各社によって指導法が異なる部分もあり、生徒の実

態に応じ教師が教え方を工夫することも必要であることを申し添えさせていただきたいと思います。

以上で数学の教科書についてのご説明を終わらせていただきます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それではまず初めに、選定委員としてどの教科書を推薦するか、お話しただきたいと思います。

齋藤選定委員長（増林小校長） 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員15名全員が7種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、75点、4番、大日本図書、44点、11番、学校図書、50点、17番、教育出版、45点、61番、啓林館、60点、104番、数研出版、44点、116番、日本文教出版、45点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点の東京書籍、60点の啓林館、50点の学校図書を推薦いたします。

以上でございます。

吉田教育長 他にありますか。

荒木委員。

荒木委員 現在、東京書籍を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会には各学校からの実績等の話題でどのようなことが挙げられているか教えてください。

尾板選定委員（平方小校長） 各学校からの報告書では、15校中13校の中学校が、現在使用している東京書籍が適正であると回答しておりました。その理由といたしましては、身近な題材を用いたものが多く、導入から課題解決、そして適用問題までの流れが明確であると挙げている学校が多くございました。また、練習問題も習熟度に応じて豊富に用意されており、生徒の理解を段階的に深めていくことができると思われる等の話題がございました。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、先ほどのお話で、マイナスとマイナスを掛けるとプラスになるという、啓林館のほうは計算の決まりでというお話だったのですけれども、それはやはりかなり抽象的思考を要するのですか。具体性としてはどうなのですか、そのあたり少し教えていただき

たいのですけれども。

尾板選定委員（平方小校長） それでは、お答えさせていただきます。

啓林館の計算の規則性で説明する部分については、わかりやすいという意味では非常に単純明快なので、そちらで教えることは、非常にたやすいかと思います。また、子どもたちにとって、あくまでも決まりであるということで、子どもたちがどの程度納得するか、子どもたちの心にすんと落ちるかについては、具体感がない分だけ難しいところはあるかと思います。

以上でございます。

吉田教育長 どちらが子どもたちの思考に沿っているものかどうか、よく見きわめろということですかね。

他にございますか。

進藤委員。

進藤委員 先ほどの話だと、適正でないと答えた学校も2校あるとのことでしたけれども、現場の先生方が現在実際に使っていて、使いづらいなどの意見はありますでしょうか。今の啓林館のプラス、マイナスの話を含めて教えてください。

尾板選定委員（平方小校長） 適正でないという理由としましては、導入時の課題設定が難しいことがあるというものがございました。また、例題と問題の難易度の差が大きいという意見もございましたが、選定委員会におきましては、特にそれが使いづらいという意見はございませんでした。

以上となります。

吉田教育長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になれば質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

現在使用している数学の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員 先ほど4年間使用した実績のところでもお話が出ましたが、問題量が多く充実していることを挙げている学校が多いということでした。基本の問題から発展的な問題まで幅広いレベルの問題に取り組むことができるのではないかと思います。生徒の理解度に合わせて問題に取り組んだり、進んだ問題に挑戦させるなど、教師も教えやすく、生徒の学力向上にもつながる構成になっているのではないかと考えました。

以上です。

吉田教育長 他に。

荒木委員。

荒木委員 選定委員さんのご報告にもありましたけれども、全学年の目次に小学校や全学年との関連が記載されていて、数学の学びの系統性を意識した教科書となっていると思いました。また、第1学年の教科書には巻末に算数の振り返りがあり、生徒が自分の理解度を確認できるなど、小中連携も考慮されていると思います。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 今、荒木委員さんからお話ありましたとおり、ひとところに比べるとやはり小学校からのつながりでは大分意識されている、各社ともそうなっているのかなというふうに思うのです。東書の中でもそういった言葉が随所に見られていて、例えば比例とか反比例とかということについては、中学校でこんなことやってますよねということについて明確に打ち出していて、わかりやすくつくられているなというふうに思いました。大変いい傾向だなというふうに思っているのですけれども、それから問題量につきましては、東書の場合、例が出ていて、それから確かめの問題があって、問いが出ていてということで、そのあたりが、先ほど堀川委員さんからもあったように、幅広いレベルに合わせた問題ができるのかな、取り組みができるのかなというふうに思っています。

それから、章末がAとBとに分かれているかなと思うのですけれども、そのあたりも基本的なものから発展的なものへということで、わかりやすいと、恐らく現場のほうではそういう意見が多く出ているのではないかなと。若い先生方も増えてきていますので、教えやすいという部分もきっとあるのかなというふうには感じているのですけれども。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、その他の教科用図書についてのご意見をお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 先ほど来話題に出てきている啓林館なのですが、こちらの啓林館は、全員が一律に学習する必要はありません。学習の前であるとか後であるとかに「活用してみましょう」と言っているマスマナビックという別冊が用意されているのが最大の特徴だと思います。この本体以外の別冊を活用することによって、数学の関心を高めたり探求的な活用ができたり、主体的な学習が展開できるということが期待できるのかなと思いました。

また、本体と別冊が別々になることによって目的に応じて引用したり参照したりするということも容易になって使いやすさというのがあるのかなというふうに思います。現に、埼玉県内の25の採択地区において、約半分とは言わないまでも、11カ所の採択地区で啓林館が採用されているようなのですけれども、やはりその辺を見ても、先生方にしてみると案外使いやすいのかなという

ふうな印象を持ちました。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。あるいは関連してでもよろしいです。

渡辺委員。

渡辺委員 学校図書なのですけれども、まず各章の扉のところに身近な内容の導入問題など、絵や写真があって、生徒さんにとっては、次どんな勉強するのかなというのがわかってよいのかなというふうに思いました。同じように、単元に入る前に振り返りのページが、例えば中学1年生であれば小学校から今までの振り返りが入っていて、これもとてもわかりやすくてよいなというふうに感じました。また、巻頭、特に巻末でのレポート学習の取り上げは、これは非常に大きく示されていてわかりやすく、またグループでの話し合いと発表の仕方なども取り上げてありまして、学習指導要領で言われています思考、判断、表現を育む学習の基盤としての言語活動ができているのではないかというふうに思いました。

以上でございます。

吉田教育長 思考力、判断力、表現力の育成については、いろんな会社でもって工夫がされているかと思うのですが、他に何かございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他の観点で協議したい内容等がございますでしょうか。こちらもよろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですが、これより数学の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、各委員は順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、野口委員、それから堀川委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、略称、票数について、票数の多い順に申し上げます。

2番	東書	30票
61番	啓林館	25票
11番	学図	22票

残り4社については同じ票数となります。

4番	大日本	18票
17番	教出	18票
104番	数研	18票
116番	日本文	18票

以上のとおり中学校数学の教科用図書は、2番、東書を採択することに決しました。

中学校音楽（一般）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 音楽（一般）の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

柳田選定委員（城ノ上小教頭） まず、教育出版社から申し上げます。1つ目の学習指導要領の目標とのかかわりなのですが、音楽は学習指導要領上では4分野、歌唱、器楽、創作、鑑賞の4分野で学習をすることになっております。どちらの教科書においてもバランスよく学習できるように配置されています。特にこの教育出版社では、学習が進めにくいと言われている創作分野について、音素材や活動手順が詳しく記されているため、それを手がかりとしながら創作活動ができるような工夫がされておりました。音楽を愛好する心情、感性の育成については、この教育出版社においては、特に鑑賞教材において楽譜及び解説が詳しく掲載されておりました。聞く側のねらいや楽曲についての解説、楽譜など情報が豊富に記されておりまして、ねらいに則して授業者が取り扱えるように構成されておりました。基礎的な能力の心情や音楽文化の理解、表現の技能、鑑賞の能力の育成については、世界の音楽や郷土芸能、ポピュラー音楽などの資料については、音楽の特徴や文化的、歴史的背景がわかりやすく分類して説明されておりました。関連写真も多数掲載されておりました。

続いて、内容についてです。小学校、中学校の連携や系統性の点については、この出版社では全学年で習得した知識、技能を活用できる題材の配置になっておりました。また、歌唱と鑑賞、創作と鑑賞といった相互の関連性についてもわかりやすい表記がありました。基礎・基本の定着、確かな学力の育成については、それぞれの学習で学ぶ共通事項について、教材の隣に参照のページが設けられておりました。その都度確認しながら学習することができるようになっております。特に鑑賞教材については、楽譜や解説が詳しく示されておりまして、楽曲の構成を理解しながら

鑑賞できるようになっておりました。

資料について、本文と挿絵や写真、図などのかかわりについては、特に歌唱教材では写真や挿絵等が曲の情景をイメージできるように構成されておりました。鑑賞については、楽譜や演奏関係の写真が多用されておまして、特に楽譜は楽曲の構成や形式もわかりやすく載せてあり、理解しやすく工夫されておりました。

表記・表現については、どちらの教科書もユニバーサルデザイン化に向けて配慮されており、見やすいです。なじみのない漢字については、どちらも適宜にルビが振られておまして、言葉や歌詞の意味を損なわないように配慮されておりました。教育出版社のほうには、共通事項の内容はページの端に色分けされておまして、音譜や記号などの参照する部分も紙面右脇に大きく表示されておりました。

総括です。学力の向上や学習の充実の点からは、全学年の学習内容を音楽の要素を捉えながら、それからさまざまな音楽文化、そして歌い合わせ聞き深める喜びの3つに分けて色分けされており、グループでの話し合いなどさまざまな言語活動の充実も図ることができるよう構成されておりました。また、巻末には歌のアルバムの選曲が中学生の発達段階に沿ったものでありまして、学習意欲を高めるような教材が掲載されておりました。

越谷の子どもたちが使う教科書としてという点からは、小学校6年生のときに越谷の子どもたちは能楽の鑑賞をいたしますが、どちらの教科書においても能についての説明や演目、舞台との関連がよくつけられておまして、わかりやすく掲載されておりました。諸外国に伝わる音楽についても、国際理解の視点から立ち、他国を尊重するような態度の育成につながるように説明がなされております。こちらの教科書では、グループで表現したり話し合ったりしながら学習を進められるような内容も設定されておりました。

続いて、教育芸術社についてです。1つ目の学習指導要領の目標とのかかわりです。4分野のバランスについてです。1つの題材の中で歌唱と器楽、鑑賞と歌唱といった複数の分野が関連づいて掲載されているので、1つの分野に偏らずに学習が進められるような工夫がされておりました。音楽を愛好する心情、感性の育成については、日本音楽を題材とする鑑賞の学習では、楽曲の特色を生かしながら歌唱する活動が設定されておまして、体験を通して習得できるようになっておりました。基礎的な能力の伸長、音楽文化の理解、表現の技能、鑑賞の能力の育成については、歌唱教材において習得段階に応じて無理なくステップアップしていけるような曲が多数選曲されておりました。また、歌唱教材では、曲の構成を学習する項目が設定されておまして、楽曲の特徴やよさを生徒みずからが甘受できるように工夫されておりました。

内容についてです。小中の連携、連続性については、前の学習の学びが次の学習の学びにつながるような構成がされておりました。例えば鑑賞で扱うような長唄については、実際に歌唱でも扱い、次の歌舞伎で扱っている謡について、能で扱う謡についても鑑賞だけではなく、実際に歌

っていくというように、前の学習の学びが次の学習の学びにつながるように構成されておりました。

また、この教科書のほうにだけありましたが、巻頭に音楽学習マップというものがあり、歌唱と鑑賞、創作と鑑賞といった相互の関連性がわかるような地図が載っておりました。これがこの教科書の最大の特徴でした。

資料についてです。用語、漢字、記号の使用や文書表現については、先ほど申し上げたように、どちらの教科書も充実しておりましたが、特に教育芸術社では吹き出しでその楽曲の特徴や気づいてほしいところなどを語りかけるような形で掲載されておりました。また、歌唱教材は、曲の情景が理解しやすいように写真や挿絵が掲載されておりました。長唄については、音の高さを線で表現するなど、微妙なニュアンスを感じ取ることができるように工夫された資料が載っておりました。

表記・表現については、学習内容として重要な部分が際立たせることができるようシンプルなデザインになっておりました。視覚的にも優しいフォントが採用されておりました。

総括です。越谷の子どもたちにとっても能の扱いについては、先ほど申し上げたとおりです。学力の向上や学習の充実の点からについては、先ほど申し上げた音楽学習マップというものが系統的な題材、題材に則した教材、そしてそれぞれのかかわりを表記するような構成になっていますので、学年を超えた学びのつながりや深まりがわかりやすいです。また、この教科書は、話し合う活動や各活動を多く取り入れられているページが多かったです。

以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それではまず、選定委員としてどの教科書を推薦するか、お教え願いたいと思います。

齋藤選定委員長（増林小校長） 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

その結果でございますが、17番、教育出版、57点、27番、教育芸術社、69点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、69点の教育芸術社、57点の教育出版を推薦いたします。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますか。

堀川委員。

堀川委員 現在、教育芸術社を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会では実績などの話題でどのようなことが挙がっておりますでしょうか。

柳田選定委員（城ノ上小教頭） 各学校の報告書によると、市内15校中14校の中学校が現在使用している教育芸術社が適正だということを答えております。理由としましては、シンプルですが、基礎的、基本的な学習がしっかりと学べる、教材の配列や領域の扱いのバランスがよく、教師にとって使いやすく、生徒にとって理解しやすい構成になっているということが挙げられています。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 現場の先生方が現在使用していて、使いづらいなどの意見はありましたか。実際、適正ではないと回答した学校が1校ありますけれども、いかがでしょうか。

柳田選定委員（城ノ上小教頭） 15校中1校が適正でないと回答しておりまして、その理由としましては、もう少し詳しく教材の説明があるとよいとありました。選定委員会でも同様な指摘がありました。教育出版の教科書は資料をもとに学習を進めていく形になっています。

教育芸術社は、楽曲を通して想像を深めていくような学習の流れになっておりますので、それぞれの教科書から学び方を考えていく必要があると思います。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

現在使用している音楽（一般）の教科用図書について教育委員の皆様のご意見をお願いいたします。

荒木委員。

荒木委員 どちらの出版社もそれぞれ工夫が見られます。教育芸術社では発達段階に対応して教材が適切に選択されていて、歌唱教材、鑑賞教材ともにバランスがとれていると思いました。系統的に学習できるという点で生徒は学びやすく、教師は指導しやすい教科書であると考えます。

吉田教育長 堀川委員。

堀川委員 先ほどの実績のところでもお話しありましたが、教育出版など、資料から読み取って学習を進めるということで、写真の掲載なんかも多いのですけれども、それに比べると何となく全体的にシンプルなような印象を受けますけれども、基礎・基本もしっかり学べて、また資料としては充実している内容ではないかと思いました。生徒が想像力を働かせて考える力を伸ば

せる教科書ではないかと思いました。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 先ほど少しお話伺っていると、適正でないというところでは、もう少し詳しい教材の説明もあったらいいのではないかなという意見もあったようですけれども、越谷市とすると子どもたちの発想を大事にしたり、そういう感性を大事にして授業を進めたいという現場の意見が強いから薦めたという学校が多いのかなんて少し感じたのですけれども、また内容としては、現場の意見の中に楽譜が見やすくてやりやすいというような話も出ていたので、必ずしも詳しく説明することによって音楽を学べるということを選んでいないのだなということを少し理解したのですけれども、生涯学習の観点からも、楽しく音楽をやろうという先生方の意欲を感じるなというふうに思いました。少し意見があれなのですけれども。

吉田教育長 質疑は終わっているのですけれども、選定委員会から今の件で何か補足はありませんか。

柳田選定委員（城ノ上小教頭） 野口委員さんのおっしゃるとおり、楽譜がシンプルで資料も少ない教育芸術社ではあるのですけれども、想像をその分豊かに表現活動を行っていくという点で、想像する余地が残っているという点で、現場の声で賛成を、適正だと言っている声が多いというふうに聞いております。

吉田教育長 余り説明的に過ぎるとそういうところで若干の支障もあると。ただ、見方、進め方によってそれぞれ持ち味があるというふうに考えていけばいいかなと思います。それでよろしいですよ。

他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、もう一つの教科用図書についてのご意見をお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 先ほど来話題になっておりますとおり、教育出版社は教育芸術社と比較して資料が多くて細かく提示されています。写真も比較的多いというふうな印象を受けました。教科書だけで発展的な学習もできる構成になっているのではないかと思います。資料も美しく、色使いも工夫されていて、全体として明るい色調であると感じました。子どもたちが興味を持ちやすい教科書だとも感じます。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

荒木委員さん、いいですか。

荒木委員 はい。

吉田教育長 他に協議したい内容はございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより音楽（一般）の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、各委員は順次投票をお願いします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、進藤委員、それから荒木委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

発行者番号、略称、票数について、票数の多い順に申し上げます。

27番 教 芸 30票

17番 教 出 25票

以上のとおり中学校音楽（一般）の教科用図書は、27番、教芸を採択することに決しました。

中学校音楽（器楽合奏）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 音楽（器楽合奏）の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

柳田選定委員（城ノ上小教頭） 器楽についても2者です。教育出版社と教育芸術社です。

教育出版社についてお話をいたします。まず、学習指導要領の目標とのかかわりです。音楽を愛好する心情、感性の育成についてですが、題材に関連する鑑賞曲の紹介が記されておりまして、器楽表現と鑑賞等に関連づけて学習し、音楽への興味関心を引き出すような構成になっています。基礎的な能力の伸長、音楽文化の理解、表現の技能についてですが、題材ごとに取り上げられている曲数が多く、難易度の低いものから高いものまで幅広く生徒の実態に合わせて指導できるよ

うに構成されておりました。楽器の扱いや奏法の特徴、例えばギターの弦の押さえ方など、写真を活用しながら説明されておりまして、生徒自身がみずから奏法を教科書で確認できるように構成されておりました。

内容についてです。小中の連携、連続性、系統性についてです。リコーダーの運指について、アルトリコーダーだけでなく小学校で習ってきたソプラノリコーダーの運指表が掲載されているなど、小学校での既習事項が活用できるように工夫されておりました。基礎・基本の定着、確かな学力の育成については、音の出し方、タンギングの仕方、ギターの左手の移行の練習の仕方などが掲載されており、スモールステップで技術が身につくようになって工夫されておりました。また、発展的な教材としてアンサンブルの練習曲が多く載っており、生徒の進路に合わせて活用できるようになっておりました。また、さまざまな楽器の奏法のアップの写真が多く掲載されており、基礎的な奏法について説明がされております。ギターのコードの押さえ方も写真つきで巻末に掲載されており、それについてそれを使って学習できるように工夫されておりました。

資料についてです。楽器の扱いは2社とも、リコーダー、ギター、和楽器です。和楽器については、琴、三味線、篠笛、尺八、和太鼓について載っております。リコーダーの学習では、初めて出てくる音や臨時記号などの指使い、運指がページの隅に掲載されており、確認しやすいです。ギターの学習では、巻末にコード表とともにそれぞれのコードを押したときの左手の写真が掲載されておりました。奏法の写真や手元のアップの写真の掲載がされており、奏法の細部まで意識して演奏することができます。

表記・表現についてです。どちらの教科書もユニバーサルデザインを取り入れた紙面構成になっております。難しい語句の漢字にはルビが振られておりまして、内容が捉えやすくなっておりました。この教科書については、楽器分野ごとにページの端に色分けがされておりました。楽譜も見やすく掲載されております。また、各楽器の奏法については挿入写真が適切で、先ほど申し上げたように、ギターコードの押さえ方、また和楽器、和太鼓の奏法については、子どもたちが進んで調べていくことができるような工夫がされておりました。また、見出しの色分けによって学びのポイントも示されておりました。

総括です。どの楽器についても、簡単な曲から難しい曲まで掲載されており、習得に向けて段階を追って学習できるようになっています。アンサンブル教材もさまざまな話し合い活動の充実が図られるように記載がされておりました。日本の楽器と音楽についての解説も充実しておりまして、みずからの郷土に目を向け、学習を深められる構成になっております。特に和楽器については、篠笛の製作方法が記載されるなど、生徒の関心意欲を高めるような構成になっておりました。

続きまして、教育芸術社についてです。学習指導要領の目標とのかかわりです。音楽を愛好する心情、感性の育成については、楽器の奏法を学ぶとともに、その楽器や奏法を用いて短い旋律

を創作するなど、器楽表現と創作活動等を関連づけて学習し、音楽への興味関心が引き出せるような構成がなされておりました。基礎的な能力の伸長、音楽文化の理解、表現の技能については、この教科書には、打楽器の奏法のページが詳しく掲載されておりました。また、学校にある教具だけでなく、手拍子などを活用して合奏が楽しめるような題材内容が示されておりました。アルトリコーダーについては、くわえ方や息の使い方など、よい例と悪い例を示し、生徒みずからが確認できるように構成されておりました。

内容についてです。小中の連続性、系統性についてですが、リコーダーアンサンブルの教材には「ラバーズコンチェルト」、「われは海の子」など、小学校で学習した楽曲が掲載されているので、新しい楽器、アルトリコーダーを使うに当たっても、知っている曲を扱うことができるので、扱いやすいです。また、扱う楽器の例示として、小学校で既習した楽器が示されておりましたので、短時間で学びが深まるように工夫されておりました。基礎的、基本的な事項の定着、確かな学力の育成については、簡単な楽曲で楽器になれさせ、次にアーティキュレーションなど演奏の工夫について学ぶように示すなど、技能を高めたり定着させたりすることができるようになっている紙面構成でありました。また、よくあるつまずきなどについては、QアンドAの形で解説がありました。奏法についても、詳しくさまざまなアングルの写真が使ってまとめられておりました。

資料についてです。掲載されている楽器は、先ほど申し上げたリコーダー、ギター、和楽器ですが、それに加えて打楽器の説明が詳しく入っておりました。打楽器は、小学校でも扱う楽器ではありますが、一斉に習ったことも楽器の台数によって、例えば大太鼓やシンバルなど、なかなか1人で定着していくことのできない楽器ではあります。その打楽器についてが詳しく載っていることで、これから中学校で初めてさわる子たちにとっても容易に取り組むことができるような構成になっておりました。リコーダーについては、その曲の音域が掲載されており、臨時記号についても表記がなされておりました。

表記・表現についてです。音楽の記号や用語の説明が丁寧で、随所にポイントや解説が記されておりました。学習内容として重要な部分が際立つように、シンプルなデザインと視覚的に優しいフォントが採用されておりました。

総括です。先ほどの音楽（一般）の教科書にもありましたとおり、教育芸術社には巻頭のところに音楽学習マップが掲載されておりますので、系統的な題材、題材に則した教材、そしてそれぞれのかかわりがわかりやすく表記されております。各楽器の習得を超えて学びのつながりや深まりが得られるような構成になっております。

我が国の音楽文化のよさを感じており、日本人として誇りが持てるように、日本の楽器について、日本の音楽について、和楽器に関する教材がたくさん設定されておりました。諸外国に伝わる楽器についても取り上げられており、国際理解の視点に立って他国を尊重するような態度の育

成につながる説明もなされておりました。また、それらを用いてグループで表現したり、話し合ったりしながら学習活動を進められるような内容も設定されておりました。

以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それではまず、選定委員としてどの教科書を推薦するか、ご説明願いたいと思います。

齋藤選定委員長（増林小校長） 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

その結果でございますが、17番、教育出版、56点、27番、教育芸術社、69点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、69点の教育芸術社、56点の教育出版を推薦いたします。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますか。

進藤委員。

進藤委員 現在、教育芸術社を採択して4年間使用しているわけでございますけれども、選定委員会におきまして、各学校からの実績などの話題でどのようなことが挙がりましたでしょうか。

柳田選定委員（城ノ上小教頭） 各学校からの報告によりますと、市内15校中14校の中学校が、現在使用している教育芸術社が適正であると答えています。理由といたしましては、発達段階にふさわしい楽曲が適切に選曲されており、曲数も十分に上げられているということです。楽譜も見やすく、楽器の扱いや奏法も詳しく記述されております。文字や色も工夫されており、使いやすい教科書であるということです。

吉田教育長 よろしいですか。

他に。

堀川委員。

堀川委員 現場の先生方が現在使用していて、使いづらいなどの意見はありましたでしょうか。

柳田選定委員（城ノ上小教頭） 15校中1校が適正でないと答えておりますが、理由としましては、もう少し詳しく教材の説明があるとよいとのことでした。音楽（一般）にも共通することですが、資料の量自体は教育出版のほうが多く、細かいかなというふうに思います。

教育芸術社に関しても、曲数は豊富で充実しておりますので、学習を進めていく上では問題は

ないかと思います。

吉田教育長 もう少し詳しく教材の説明があるといい。もう少しコメント足してもらえますか。どうということなのか。

柳田選定委員（城ノ上小教頭） 教員が授業を進めるに当たって、教員が持っている知識を子どもたちに伝達することはありますが、そのときにぱっと教科書に載っているとすごく引き出しやすいということになります。なので、もともと教える事項については、教員が持っている知識で十分事足りるのではありますが、その引き出しが欲しいといった理由かと思います。

吉田教育長 引き出しを増やせば余り説明がなくてもということですかね。よろしいですか。他にございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になれば質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

現在使用している音楽（器楽合奏）の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

渡辺委員。

渡辺委員 やはり器楽というのは苦手な子も多いと思うのですけれども、その点、現在使われております教科書は、簡単な楽曲でまず楽器になれさせて、それから演奏なんかが学べるようになっていてということで、生徒が楽しく器楽合奏に取り組めるのではないかと思います。

以上でございます。

吉田教育長 今の渡辺委員に関連してでもいいのですが、その他に何かございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 教育芸術社では、和楽器に関する教材が選定されています。また、諸外国に伝わる楽器についても取り上げられていまして、先ほどご説明にあったように、国際理解の観点からも、自国の音楽であるとか文化のよさを知り、また他国を尊重する態度の育成にもつながると思います。また、この他にも教育出版社では和楽器を除いては、打楽器について特に扱っていないのに対して、教育芸術社に関しましては12カ所で扱っておりました。この点でも広くいろいろな楽器をバランスよく扱っているのかなというふうな印象を受けました。

以上です。

吉田教育長 他に何かございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 先ほどのご説明の中で、リコーダーアンサンブルの教材では、小学校でなれ親しんだ曲で楽器を吹ける、演奏のほうに集中できるのだなということで、そういったあたりも現場の声として、すぐ器楽の演奏のほうに重点を置けるというよさがあるのだなということで、大変参考になったと思います。

吉田教育長 関連して何かございますか。

荒木委員さん、よろしいですか。

荒木委員 はい。

吉田教育長 それでは、ないようですので、もう一つの教科用図書についてご意見をお願いいたします。

荒木委員。

荒木委員 音楽（一般）の教科書同様、音楽（器楽合奏）の教科書でも、どちらの出版社もそれぞれに工夫が見られます。教育芸術社では比較的資料が多く、細かく記載されていると思います。教師はそれらの資料を使うことで授業が進めやすく、生徒も学習を深めることができると考えます。いずれにしても、音楽は人生を豊かにするということで、生涯学習としても合唱や器楽、音楽鑑賞など好まれているようです。これからも授業を通して生徒たちに音楽の魅力を伝え続けていただけたらと思います。

以上です。

吉田教育長 授業だけでなく生涯学習を見越してというお話もありましたけれども、その点について何かお話がございますか。ご意見等ございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 やはり今、生涯学習の視点、今度出てくる美術なんかもそうかもしれませんが、やはりおっしゃるとおりで中学生は教科というのですか、主要教科と副教科みたいな形で考えがちかなとは思いますが、こういう音楽とか美術とか、生涯の趣味としてずっと取り組んでいける内容ですので、こういった先生方の知性で、子どもたちに音楽に親しまれてもらえると大変ありがたいなというふうに今日は思いました。

吉田教育長 そうした意味で、もう少し工夫が欲しいなみたいなのはありますか。

荒木委員 教科書もそれぞれに工夫がやはり見られますので、現場の先生方の使い方の工夫で魅力的な授業が展開できるのではないかと思います。

吉田教育長 他に協議したい内容ございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより音楽（器楽合奏）の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、渡辺委員、それから野口委員を指名いたします。

〔立会人立ち会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、略称、票数について、票数の多い順に申し上げます。

27番 教 芸 30票

17番 教 出 24票

以上のとおり中学校音楽（器楽合奏）の教科用図書は、27番、教芸を採択することに決しました。

◎休憩の宣告

吉田教育長 それでは、ここで暫時休憩といたします。

次の中学校国語については15時10分から再開することといたします。

休憩 午後 2時__分

再開 午後 3時10分

◎開議の宣告

吉田教育長 それでは、会議を続けます。再開いたします。

中学校国語の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 国語の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

小野寺選定委員（東越谷小校長） それでは、国語の教科用図書について説明いたします。

資料にお示しした報告内容の5観点に沿って報告いたします。観点1の学習指導要領の教科の目標とのかかわりにつきましては、5社ともに伝え合う力の育成を図るために教材に工夫が見られます。同様に古典の取り扱いの工夫により国語を尊重する態度を育てたいという配慮が見られます。

東書は、多彩な言語活動を通して習得、活用させるように教材が配置され、伝統文化や言語について意欲的に学ぶことができるような教材が掲載されています。

学図は、交流や共有を軸とする教材や言語感覚を豊かにする教材配列になっており、解説文を導入として取り入れ、伝統的な言語文化に対する認識を深められる教材が掲載されています。

三省堂は、教材で身につける知識、技能の重点を明確に示し、学習の系統性を図った教材の配置に工夫がされており、写真やイラストを用いて伝統的な言語文化、芸能と日常生活を結びつけながら学習が進められる工夫をしています。

教出は、小学校や高等学校との円滑な接続を意識した教材が幅広いジャンルから掲載されており、古典教材を読むこと、伝統的な言語文化の両方に系統化し、視覚教材やコラムを設定する等、伝統文化を継承する態度を育てられるように工夫されています。

光村は、習得と活用を繰り返しながら学習し、着実に力が積み重ねられるよう系統性を図った教材が掲載されており、言語にかかわる姿勢を育ませたり、日本語そのものの表現や古典の世界に興味や関心が持てるように工夫されています。

続きまして、観点2の内容についても、5社ともに小中の学習の連続性や系統性の工夫や基礎・基本の確実な定着を図ろうとする配慮が見られました。

東書は、各学年巻末の資料編の「言葉を広げよう」では、さまざまな言葉とその言葉を使った文例が掲載され、学習事項の基礎トレーニングを導入的に用いることができる配置になっています。

学図は、単元内にある言葉と生活、生活と文化で語句、語彙に触れ、巻末の語句、語彙の学習で系統的に学ぶ工夫があり、学習の仕方や学習の振り返りを設け、第1教材には読解を助ける具体的課題を提示しています。

三省堂は、学年に応じたさまざまな言語活動を段階的に繰り返して取り組めるようにしており、習得すべき知識や技能が課題の解決方法や思考のポイントを図解やモデリングで示されています。

教出は、第1学年導入の単元内容は、小学校の学びを振り返り、中学校の国語学習を始めるとなっており、学びの重点を設け、身につけたい学習内容を明示しています。

光村は、第1学年の最初は音読、ノートのとり方、調べ方等を取り上げ、第2、第3学年では全学年で学習した内容の振り返りがあり、「たしかめよう」「読み深めよう」「自分の考えを持とう」の段階的な課題構成になっています。

続いて、観点3の資料についても、5社ともに学習効果を高めるような挿絵や写真、図が使われています。

東書は、文法解説は表でレイアウトされ、色分け、視覚で囲まれて示されており、単元ごとの漢字が大きく示され、はね、とめ、はらいがよく理解できる工夫があります。

学図は、文法は単元ごとに1ページ扱いで配置され、巻末にまとめが示されており、キャラク

ターによる説明や漢字の成り立ちを説明した象形文字等によりわかりやすい工夫が見られ、さらに教科書に自分の考えを書き込むスペースがあります。

三省堂は、単元ごとの漢字が大きく示されており、見なれていない能や狂言の写真が多く紹介されており、興味を引く内容の工夫があります。学びの道標では、学びの過程を構造化してあります。

教出は、単元ごとの扉にタイトルが大きく示され、その枠に狙いが明示されており、「言葉と文法」では3年間を同じキャラクターが解説しています。新出漢字は、はね、とめ、はらいが大きく掲載され、日常生活で目にするものの少ない写真や絵が提示されています。

光村は、巻末の漢字では1文字のスペースが大きく、写真が必要な文章には鮮やかな写真を使い、理解を深めやすいようになっています。

続きまして、観点4の表記・表現につきましても、5社とも複数の記号の使用やユニバーサルデザインへの配慮があり、わかりやすく見やすいつくりになっています。

東書は、脚注に4色で4種類の記号を使って用いており、新出漢字と用例、新出音訓、難解語句の解説があります。古典は茶色で現代語訳がついています。

学図は、脚注に緑色で4種類の記号を用いており、新出漢字、新出音訓、難語句、小6で学習した漢字があります。古典は、不語の字体を大きくし、左側に適宜青色で現代語訳があります。

三省堂は、脚注に5色で6種類の記号を用いており、新出漢字、新出音訓にも記号を用いており、難解語句、難語句の説明もあります。古典は、青色で現代語訳がついています。

教出は、脚注に青い四角で5種類の記号を用いており、新出漢字、難語句の説明があります。古典は、上段に古語、下段に黄色い四角の中に現代語訳を書いています。

光村は、脚注に黒い四角で5種類の記号を用いており、新出漢字、新出音訓は緑色の記号で表記し、難語句の説明があります。古典は、上段に古語、下段に現代語訳のものと古語の横に緑色の字で現代語訳のものがあ、古語は字体を変えています。

続きまして、最後に観点5の総括についてでございますが、5社とも生徒一人一人の学力向上と学習の充実を図る配慮の工夫が見られます。能を小学6年生のときに鑑賞したり、読書環境が整備されている本市の生徒にとりまして、関連した教材が5社ともに掲載されています。

まず、東書ですが、学びの過程が明確に示されており、3年間で系統的に積み上げられるように組み立てられており、年間を通して読書活動に取り組める教材があるほか、本の世界を広げたり楽しんだりする工夫があります。伝統的な言語文化については、音読等を通し古典に親しんだり資料に発展的な内容を掲載し、学びを深めたりすることができるようにしています。

学図は、演習のための学習教材や資料に直接書き込む欄があり、各自の学習成果を確認する設定があります。また、読書案内や関連する本を紹介して読書活動が広がるようにもしています。伝統的な言語文化については、音読教材だけでなく古典読書を設け、理解の一助となるようにし

ています。また、短編教材が効果的に配置されています。

三省堂は、何をどのように読めば力がつくのかという17の読み方を図解し、理論的な思考力を養う教材を掲載しています。読書案内や読書活動等を通し、幅広いジャンルの読書ができるようにしており、伝統的な言語文化については、音読のほか、歌舞伎や能、狂言等を見て楽しむ教材によって関心が高まるようにしています。

教出は、読むことでは3段階の学習課題を示し、話すこと、聞くこと、そして書くことでは学ぶ段階が一目でわかります。学びのチャレンジでは発展的な問題を設けています。関連する本の紹介や年間を通して読書を促す教材があり、関心に応じた読書ができ、伝統的な言語文化については、音読、暗唱教材や書くことに取り組む等、多様な学習活動により関心が高まるようにしています。

光村は、読むことでは3段階の学習活動を示し、身につけた言葉の力を日常的に生かしながら他者との交流を適宜設定し、考えや意見を深めたり、学習の見通しが持てるようにしたりしています。読書案内や読書活動等を通し、幅広いジャンルの読書ができるようにし、伝統的な言語文化については、音読を楽しんだり、自分の考えを持つ教材等により学習が高められたりするようになっています。

説明は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答をお願いします。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それではまず、選定委員としてどの教科書を推薦するか、ご説明願いたいと思います。

齋藤選定委員長（増林小校長） 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が5種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、52点、11番、学校図書、44点、15番、三省堂、51点、17番、教育出版、50点、38番、光村図書、69点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、69点の光村図書、52点の東京書籍、51点の三省堂を推薦いたします。

以上でございます。

吉田教育長 他に。

堀川委員。

堀川委員 現在、光村図書を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会では、各学校からの

実績などの話題でどのようなことが挙がっておりますでしょうか。

小野寺選定委員（東越谷小校長） 各学校からの報告書によりますと、市内15校全ての中学校が、現在使用している光村図書が適正であるという答えが出ております。

理由といたしましては、中学生向けの学びやすい教材がバランスよく掲載されているとか、あと指導しやすい、そして単元で学習することや単元同士のかかわりや「学習の見通しを持つ」という項目にまとめられており使いやすい。基礎的事項を大切にしており、レイアウトも落ちつきがあり、生徒も意欲を持って学ぶことができるのではないかなというような話題が挙げられておりました。

吉田教育長 よろしいですか。

堀川委員 はい。

吉田教育長 他にありますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 現場の先生方が現在実際に使用していて、使いづらいなどの意見はありましたか。

小野寺選定委員（東越谷小校長） 学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、特に使いづらいなどの意見はございませんでした。先ほども述べさせていただきましたように、単元ごとに学ぶことやつながりが明確であるほか、指導しやすいとか、生徒も見通しを持って学びを続けやすいということ、また文学、説明文、古典など、さまざまな種類の文章がバランスよく選択されているということも評価できるといった意見も出ておりました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

現在使用している国語の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

野口委員。

野口教育長職務代理者 選定委員さんのほうからもご説明があったように、光村図書につきましては、バランスがよいということがひとつ言えるのかなと思います。文学的な文章、説明、古典など、今お話があったとおりなのですけれども、特にいわゆる名作と言われるような、そういう作品が結構散りばめられているなという印象を受けます。「走れメロス」ですとか「高瀬舟」とか、あるいはヘルマン・ヘッセの「少年の日の思い出」とか、それから古典についても「竹取物語」とか「枕草子」、「平家物語」、「古今和歌集」、あるいは「奥の細道」なども網羅されていて、読書活動にも広がるのかなというふうに思います。

それと、季節のしおりというのがあるということで、先ほどご説明あったのですけれども、このあたりが心の奥に入っていて、日本語のよさとか季節感を表す言葉などに、すごく丁寧に対応

しているなというふうな印象を受けました。そういうことがまた先ほど言ったような文学的文章などにも理解や深まりが出てくるのではないかなということで、選定委員さんがおっしゃったように、現場で光村図書がいいのだというような対応もうなずけるというふうに思いました。

以上です。

吉田教育長 ただいまのご意見に関連してでもいいですけども、何かございますか。

堀川委員。

堀川委員 主体的な学びという観点からも、生徒が見通しを持って学習に取り組めることは大切なことだと思います。先ほどのご説明にもございましたが、光村の教科書では学習の見通しのもとの項目に単元で学習すること、単元文書のかかわりなどがまとめてありますので、生徒も先生も見通しをもって学んだり指導できるのではないかと思います。

吉田教育長 今幾つか出たのですけれども、該当するような教科書のところで、光村の2年生の106ページに向田邦子の「字のないはがき」というのがあるのです。これは、学童疎開で家族と離れ離れになった小学生が、丸だけのはがき、手紙を出すって。これ前の採択のときにも言ったのですが、最初は大きな赤い丸の手紙が来て、それがやがて小さな丸になり、最後バツに変わるのです。このはがきをめぐって家族の思いが痛いほど伝わってくる内容になっていますけれども、この勉強をした後に、112ページにあるように、「気持ちを込めて書こう」と学習する流れになっているのです。日常生活で学んだ言葉の力を生かせるようになっていて、教育委員会でも主催事業をやって、そこに中学生が参加して、お礼の手紙なんかもらうようになるのですけれども、そのお礼の手紙も読んでいる職員が感動していたりして、こういう教科書を使ってこういうふうに勉強している、そういう表れかなと思っているのですけれども。

それから、先ほど出た31ページのところにある、野口委員さんから出た「季節のしおり」というのがあるのですけれども、ここで次のページの32ページに「枕草子」があって、33ページの下の方に「自分流枕草子を書こう」というようになっています。それが本市の文化総合誌にある「川のあるまち」に掲載されたことがあるのです。非常に一連の流れがあって、ぜひ紹介したいなど。報告書の中に「味わい深い作品が配列されており」との記載がありますが、これは野口委員さんも指摘されていました。「生徒の学びが深まっていくとを感じる」というと、まさに報告書とおおりかなと思いました。少し紹介させていただきました。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それでは、他になればその他の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

渡辺委員。

渡辺委員 東京書籍なののですけれども、選定資料にもありますように、至るところに読書への招待とか読書案内とか、そういうものが散りばめられていて、子どもたちは本の世界を広げたり楽し

んだりすることができるのではないかというふうに思います。「ビブリオバトル」とか、今割とはやっているのが中学3年生の教科書のほうで紹介されたりしていて、おもしろいなというふうに思いました。

以上でございます。

吉田教育長 他に、関連してでもいいのですが、ありますか。

進藤委員。

進藤委員 学校図書なのですけれども、1年生の教科書の巻頭に小学校の教材の「スイミー」、これはほとんどの出版社の1年生ないし2年生で取り上げられている谷川俊太郎先生の翻訳による物語なのですが、この物語のことを取り上げて、同じ作品の読みが成長とともに変わることに触れていまして、小中の学習の連続性を感じることができると思いました。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。

堀川委員。

堀川委員 三省堂ですが、能や狂言の写真が多く紹介されておりまして、図や表も多く用いられている印象を受けました。

吉田教育長 荒木委員。

荒木委員 先ほどご説明にもありましたとおり、教出では「学びの重点」や「みちしるべ」で身につけたい学習内容を促すような進み方を確認できる構成になっていると思います。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他に協議したい内容はございますでしょうか。どちらでもよろしいです。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより国語の教科用図書にかかわる採択に入ります。

選定委員の皆様、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたします。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、堀川委員、それから進藤委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

1名分については記載が不適切でございましたので、ここに入れないものとして票を数えてまいります。

それでは、発行者番号、略称、票数について、票数の多いものから申し上げます。

38番 光村 25票

2番 東書 20票

15番 三省堂 18票

残り2社については票数は同じでございます。

11番 学図 16票

17番 教出 16票

以上のとおり中学校国語の教科用図書は38番、光村を採択することと決しました。

中学校書写の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 書写の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

小野寺選定委員（東越谷小校長） それでは、書写の教科用図書につきまして説明いたします。

資料にお示しした報告内容の5観点に沿って報告をいたします。観点1の学習指導要領の教科の目標とのかかわりにつきましては、5社ともに字形、文字の大きさ、配列などを理解させたり、目的や必要に応じて楷書または行書を選択して書く能力を身につけさせたりする工夫が見られます。

東書は、ポイント等が色分けや罫線、余白によって視覚的に示しており、書写の学習を生活に関連づけ、特に行書の動きの習得が重視されています。

学図は、言葉によって解説し、始筆、終筆、筆脈等を点線や矢印で示しており、楷書または行書を選択して書く能力を身につけさせるために写真による資料を掲載しています。

三省堂は、朱墨と薄墨を用いて筆遣いが確かめられるようになっており、イラスト等を多く用いて効果的な使い方を意識させるような活動例を示しています。

教出は、写真や点線、筆順を数字で表すことにより、始筆、送筆、終筆がわかるように示しており、学習活動や社会生活に生かせるように豊富な教材が掲載されています。

光村は、ポイントとなる事柄を穴埋め形式にする等、工夫がされており、写真や絵を用いて示

し、理解を深められるようにしています。

続きまして、観点2でございますが、こちらの内容に関しましても、5社ともに小中の学習の連続性や系統性についての配慮や工夫が見られ、基礎・基本の確実な定着を図ろうとする配慮が見られました。

東書は、「学習の初めに」では、「毛筆学習での気づきを硬筆学習に役立てることが大事」とあり、「調べよう」、「確かめよう」、「広げよう」の3段階の過程が設けられ、確認できるようになっています。穂先の動きが濃淡のある朱墨で示してあり、手本の横に書くときのポイントを掲載しています。

学図は、冒頭の学習の進め方で毛筆学習によって自分の課題を理解することができるというよさと意義を述べており、毛筆の学習を生かして硬筆で字形を整えて書き込めるページがあります。楷書に調和する仮名に中心線が引かれ、文字のバランスを身につけさせるようになっており、基本的な点画について、穂先の動きが濃淡のある朱墨で示してあり、手本の後に解説を加え、中心や筆順を確認させるようにしています。

三省堂は、筆遣いが筆の入り方の写真やイラストとともに掲載されており、学習のまとめでは筆順に注意して書くことを促す筆順の原則と意義が掲載されています。「考えよう、話し合おう」を設け、生徒自身に発見させることで知識を習得させるようにしており、筆遣いについて、筆圧や穂先の動きを濃淡のある朱や黒の墨で示し、毛筆の学習の際に硬筆で文字のバランスを確認させるようにしています。

教出は、小学校で学習した基本点画について、その点画が含まれる漢字が筆圧の強弱の表示とともに掲載されており、基本点画の種類を書き込む欄も設けてあります。目標を意識してのなぞり書きを設け、文字のバランスを身につけさせるようになっており、基本的な点画のほか、第1ごとに筆順や穂先の動きを濃淡のある朱墨で示し、硬筆で試し書きをしてから毛筆での書き方を表せるようになっています。

光村は、基本編において「点画の種類と筆遣い」という項目で、小学校の学習内容の確認が掲載されています。目標を意識してのなぞり書きや書き込み式の確認欄を設け、バランスを身につけさせるようになっており、点画の種類と筆遣いについて、筆圧や穂先の動きを濃淡のある朱墨で示しており、毛筆で学習したことを生かして硬筆を練習させるようになっています。

続きまして、観点3の資料についても、5社ともに本文と挿絵や写真、図などのかかわりについて、学習効果を高めるための配慮や工夫が見られます。

東書は、姿勢が悪いときの文字の見え方が示され、姿勢のよさの重要性が理解できる仕組みになっています。

学図は、筆ができるまでの写真による記事が日本のものづくりに通じる掲載があり、荷物を送るときの伝票等を使用して、生活の中で実際に用いる場面での意識化を図っています。

三省堂は、望ましい姿勢と筆記用具の持ち方では写真が大きく、悪い例も出ており、意識させやすく、「生活に生かそう」では、実物写真を使用して意識化を図っています。

教出は、美しい文字をどんなところで発揮できるのかの紹介があり、必要性を意識した写真が多く、将来の仕事につながる掲載があります。

光村は、点画の種類と筆遣い、字形の整え方のページが小学校の学習の確認として系統的に示されており、技術の向上だけでなく穴埋め様式で理論が学べるようになっています。楷書と行書の筆の運びを比較し理解させようとしている掲載もあります。

続きまして、観点4の表記・表現についてでございますが、こちちも5社とも複数の記号の使用やユニバーサルデザインへの配慮があり、わかりやすく見やすいつくりになっています。

東書は、始筆、送筆、終筆にトン・スー・ピタッという言葉が使われ、筆の流れがイメージでき、トン、スー、ピタッというキャラクターを設けて適宜登場します。

学図は、鉛筆や筆をモチーフにしたキャラクターを設け、学習で大切なことを説明するときに適宜登場します。

三省堂は、中学生の探険隊メンバーや考古学者と鳥のキャラクターを設け、学習で大切なことを説明するときに適宜登場します。

教出は、男女の中学生のキャラクターを設け、学習で大切なことを説明するときに適宜登場します。

光村は、男女の中学生キャラクターを設け、学習で大切なことを説明するときに適宜登場する形になっております。

続きまして、最後に、観点5の総括についてでございますが、こちら5社とも生徒一人一人の学力向上と学習の充実を掲げる配慮に工夫が見られます。

東書は、見開き2ページの右に学習のポイント、左に毛筆手本を示してあり、生徒がヒントを得ながら主体的に学習を進めることができるよう3段階の手引きが用意されています。また、単元内にワークシートがあり、直接書き込む欄を設けています。

学図は、見開き2ページで毛筆の主たる手本、次ページ以降に学習のポイントを示してあり、学習の目標や振り返りのポイントを色つきの枠内に簡潔に示したり、学習の進め方を具体的に示しています。

三省堂は、見開き2ページの右に学習のポイント、左に毛筆手本を示してあり、学習の初めに目標について考えよう、話し合おうという活動を通し、他者との交流を設けています。また、単元内にワークシートがあり、直接書き込めるようになっています。

教出は、見開き2ページの右に毛筆手本、左に学習のポイントを示してあり、学習の流れが一目でわかるようにマークが活用されています。行書教材になぞり書きを設け、学習の段階をスムーズにしています。

光村は、見開き2ページの右に学習のポイント、左に毛筆手本を示してあり、楷書教材と行書教材になぞり書きを設け、生徒の理解を促しています。また、基礎編、学習編、資料編で構成されていますが、全体の約半分のページが資料編となっています。

説明は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 まず、選定委員としてどの教科書を推薦するか、ご説明をお願いします。

齋藤選定委員長（増林小校長） 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が5種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、42点、11番、学校図書、51点、15番、三省堂、48点、17番、教育出版、45点、38番、光村図書、70点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、70点の光村図書、51点の学校図書、48点の三省堂を推薦いたします。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますか。

堀川委員。

堀川委員 現在、光村図書を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会では各学校からの実績などの話題でどのようなことが挙がりましたか。

小野寺選定委員（東越谷小校長） 各学校からの報告書によりますと、市内15校の中学校が現在使用している光村図書が適正であるというふうに答えております。理由といたしましては、国語が同じ光村図書ですので、国語で学習した内容と関連した教材なり指導がしやすいというものでした。他教科で学んだことが生かせるのは、思考力、判断力を育てる上でも非常に効果がありまして、指導もしやすいというふうに考えられます。また、習字の学習で大切になる穂先の動かし方が細かく記載されておりますので、生徒にとりましてわかりやすいという意見もございました。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 現場の先生方が現在実際に使用していて、使いづらいなどの意見はありましたか。

小野寺選定委員（東越谷小校長） 学校からの報告書、または選定委員会との協議の中でも、特に使いづらいなどの意見はございませんでした。光村図書の教科書は、楷書、行書の書き方から、

手紙、はがきの書き方、原稿用紙の使い方まで幅広い内容を学習することができるといった意見も中でございました。

以上でございます。

吉田教育長 荒木委員。

荒木委員 選定委員会では他にどのような話題が出ましたでしょうか。

小野寺選定委員（東越谷小校長） 選定委員会の中なのですが、手紙の書き方やのしの書き方とか、あと伝票の書き方など、実際の生活の中で活用する、生活に則した学習内容が取り入れられていることが話題として挙がりました。先ほども申し上げましたが、光村図書にも手紙とかはがきの書き方など、実際の生活で使う場面を想定した学習内容が取り上げられているという話題も上がりました。

以上でございます。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。現在使用している書写の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

渡辺委員。

渡辺委員 適正と答えた学校の中で多かった意見としましては、国語と関連した内容があり指導しやすいということでしたが、やはりリンクしているということは、子どもの学びのトラブルが少ないかなと思いました。

以上でございます。

吉田教育長 他に。

野口委員。

野口教育長職務代理者 光村図書では、楷書、行書の書き方やポイントにつきまして、毛筆、硬筆等もわかりやすいことになっているというのがありましたけれども、本来であれば先生が一人一人じっくりと筆の動かし方を教えられればよいのでしょうかけれども、クラスが30人から35人、それ以上の子どももありますけれども、生徒がいるということを考えますと、生徒たち自身が教科書を見てポイントがわかるという点では、メリットがよりあるのではないかなというふうに思いました。

吉田教育長 他にどうでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 先ほどはがきや手紙の書き方、のしの書き方、伝票などの書き方などの実際の生活に則

した学習内容が取り上げられていることが話題となっているとご説明がありましたけれども、文字の筆遣いから始まり、最終的には行書や日常生活につながることができることまで幅広い対応を学習できるというのは、中学生にとって利点ではないかと思います。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、その他の教科用図書についてのご意見をお願いいたします。

荒木委員。

荒木委員 各社とも小学校での学習との系統性を踏まえ、毛筆を使用して穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことを確認できるページを掲載しています。

吉田教育長 堀川委員。

堀川委員 各社ともそれぞれキャラクターを設定して、学習で大切なことを説明するときに登場するようになっています。

吉田教育長 他に。

進藤委員。

進藤委員 いずれの教科書も書くときの姿勢であるとか用具の持ち方についても、それぞれの教科書の冒頭で写真などを用いて視覚的にわかりやすく説明する工夫がされていました。

吉田教育長 他にはございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 この他に協議したい内容はございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 他にないようですので、これより書写の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の皆さん、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、荒木委

員、渡辺委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、略称、票数について、票数の多い順に申し上げます。

38番 光村 30票

11番 学図 24票

15番 三省堂 22票

残り2社の票数は同じでございます。

2番 東書 19票

17番 教出 19票

以上のとおり中学校書写の教科用図書は、38番、光村を採択すると決しました。

中学校英語の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 英語の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

原田選定委員（武蔵野中校長） それでは、英語の教科書について説明を申し上げます。

まず、東書ですが、各ユニットは複数パートで構成されております。コミュニケーション能力を育成するために、第2学年以降は、パート1、聞く、書く。パート2、話す、書く。パート3と4、読む。パート5、話す、聞く、書くという定型で4技能の学習が組まれています。また、各学年3回のプレゼンテーションというものが設定されており、発展的学習をつくっております。積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成のためには、3年間同一の主人公によるストーリー型の話が進んでおります。また、コミュニケーションに必要な単語情報が巻末資料で提供されています。言語や文化に対する理解を深めるためには、学び方コーナーやまとめと練習という場面を設けて工夫しております。

内容といたしましては、ユニットの冒頭に目標が書かれており、またプレゼンテーションのコーナーには「振り返ろう」というチェックリストがあり、基礎・基本の確実な定着を図っております。

資料といたしましては、現在の学校生活にかかわることや多種多様な話題を取り上げております。

表記・表現につきましては、対話のこつとして、英会話のときに注意すべき点や追加、類似表現を載せ、より活発に会話を行えるようにしております。各ユニットの最後にデイリーシーンがあり、何々について5文以上の英語で書くなど、表現力を高める活動を設定しております。また「シンク」でも何々についてどう考えるかと自分の考えを述べる場面が設定されており、一人一

人の学力向上と学習の充実を図っております。

続きまして、開隆堂です。各プログラムは複数のセクションで構成されております。コミュニケーション能力を育成するためには、セクションの左ページには新言語材料、会話活動を載せ、一定の手順で指導学習ができるように設定されております。積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につきましては、ワードボックスやエクスプレッションボックスでコミュニケーションに必要な単語や表現が適宜提示されています。言語や文化に対する理解を深めるためには、英語の仕組みで視覚に訴える紙面を通して文法を確認できるようにしております。基礎・基本の確実な定着を図るために、「CAN-DOリスト」が巻末に掲載されており、生徒自身が自分でチェックしながら学習の定着を図れるようにしてあります。

資料といたしましては、日本の伝統文化を発信する題材を豊富に取り入れており、また第1学年では動作を絵で示し、学習することができるアクションカードもついております。

表記・表現につきましては、発音とつづり字の関係は、発音クリニックのコーナーで音声の注意を喚起しております。セクションの冒頭に対話形式で基本的な文型、文法事項を提示し、何を学ぶかを明示することによって一人一人の学力の向上と学習の充実を図っております。

続いて、学図です。各レッスンは複数のセクションで構成されております。コミュニケーション能力を育成するために、セクションは右のページに新言語材料を配置し、また学んだ文法や技能を使ってチャプタープロジェクト、ブックプロジェクトへの発展的に活動できるように構成されております。積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につきましては、運用頻度が高く、言語活動に必要な単語をワードツリーやモアワードで提示しております。言語や文化に対する理解を深めるために、文化に対する理解を深めるための題材として国によって異なるジェスチャーなど取り上げております。基礎・基本の確実な定着につきましては、各チャプターの扉に「学ぶ内容」と「目指す姿」が記載されており、その単元でどんなに学ぶかが、またどういう力をつけるかがわかりやすく提示されております。

資料につきましては、英語圏だけでなく、幅広く他の地域からも題材を取り入れております。

表記・表現につきましては、新出ではないが、意味が大きく異なる単語については記号がつけられ、新出単語と同じように再度学ぶ形式になっております。セクションごとに目標文を習得するためのアクティビティーがあり、一人一人の学力の向上と学習の充実を図る取り組みがされております。

次に、三省堂です。各レッスン、複数のパートで構成されております。コミュニケーション能力を育成するために、パートの左ページ下に新言語材料を掲載し、第1学年の初めは聞く活動から入り、段階を追って定着を図っております。積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につきましては、必要な単語や表現が「ワードバンク」や「エクスプレッション」、「アイデアボックス」等で随時紹介されております。言語や文化に対する理解につきましては、レッス

ンごとに文法のまとめ、文化に対する理解につきましては、社会的問題や文化生活など、さまざまなものを取り上げております。巻末に「What can I do」という「CAN-DOリスト」があり、生徒自身が1年間で何ができるかを確認することができる。3年間を通して1つのパートで複数の文法を扱うことが学習内容の積み重ねや運用力を伸ばすための工夫として基礎・基本の確実な定着を図っております。

資料といたしましては、「不思議な国のアリス」など、読み物や中学生に親しみのある作品を扱っております。また、本文近くの「ノット」というコーナーでは、補助的な情報を提供しております。

表記・表現につきましては、本文下のほうにある、音読のヒントとなるような「サウンズ」では、音の強さや音変化、区切りといった音に関する学習ができるようになっております。

一人一人の学力向上と学習の充実の工夫につきましては、「ユーズスピーク」というコーナーでスピーチのような発表型と会話型の2つに分けて学習があり、これは新学習指導要領、技能の発表とやりとりに対応しているものというふうに捉えております。

次に、教出です。各レッスンは3部構成になっております。コミュニケーション能力を育成するためにホップ、ステップで4技能を高める活動を、ジャンプタスクでまとめの活動を設定しております。言語や文化に対する理解を深めるために、英語の仕組みで文法内容をまとめて復習することができるようになっております。

各パートに目標が書かれ、巻末には「CAN-DO自己チェックリスト」が掲載されており、基礎・基本の確実な定着ができたかどうか、確認できるようになっております。

資料につきましては、各学年に別冊のエッセンシャルがあり、各単元の振り返りができるようになっております。また、これは赤いシートで文字を隠して勉強ができるようになっているものです。

表記・表現につきましては、4技能を色分けして活動の種類をわかりやすくしていたり、また文字は若干小さ目ですが、その分読み物資料の文章が多くなっております。各パートに文章を長く書こうとする活動や文章を早く読む活動が設定されており、一人一人の学習、学力向上と学習の充実を図るような工夫があります。

次に、光村です。ユニットは複数のパートで構成されております。コミュニケーション能力を育成するために、パートの終わりに4技能のスキルを学習し、技能を強化できる活動が設定されております。積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につきましては、各学年にある「ワードボックス」、「ワードスクエア」でコミュニケーションに必要な語彙が適宜提示されております。言語や文化につきましては、「ランゲージフォーカス」やその中の「グラマーハント」という部分で興味を高めるような工夫がされております。各ユニットの冒頭に目標が示されて、また途中には「You can do it」というコーナーがあり、目標に到達できたか自己

評価できるもので基礎・基本の定着を図っております。

資料につきましては、巻末資料に「こんなときはどう言うの」という会話を続ける表現の資料がついております。表記・表現につきましては、本文下に内容理解の質問と発音コーナーがあり、色分けされております。付録の中のクリル、内容言語統合型学習の部分は、他教科の内容を英語で考える、一人一人の学力向上と学習の充実を図る工夫がされております。

以上です。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それではまず最初に、選定委員としてどの教科書を推薦するか、ご説明をお願いします。

齋藤選定委員長（増林小校長） 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員15名全員が5種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、48点、9番、開隆堂、55点、11番、学校図書、59点、15番、三省堂、75点、17番、教育出版、47点、38番、光村図書、46点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点の三省堂、59点の学校図書、55点の開隆堂を推薦いたします。

以上でございます。

吉田教育長 他にありますか。

進藤委員。

進藤委員 現在、三省堂を採択して4年間使用しておりますけれども、選定委員会では各学校からの実績等の話題でどのようなことが上がりましたでしょうか。

原田選定委員（武蔵野中校長） 各学校からの報告書によると、12校の中学校が、現在使用している三省堂が適正であると答えております。理由といたしましては、聞く、話す、読む、書くの4技能がバランスよく学習できる構成になっている。英文の量や質もちょうどよく、発展的な内容があるため、学力向上に効果的であるというものでありました。

吉田教育長 他にございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。現在使用している英語の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

渡辺委員。

渡辺委員 現在使われている教科書を見させていただきますと、適度な量の英文が掲載されており、そしてその掲載も見開きの1ページになって、左側に英語があって、右側にはリッスン、スピーク、ライトという形で、書式が1年生から3年生まで一緒になっていて、非常にわかりやすく、プロジェクトのほうも本当に簡単にできるような内容になって、生徒の理解も進むのではないかと思います。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 先ほどのご説明でもありましたけれども、発展的な問題など生徒の理解度に応じた内容となっているため、意欲的に学習できて、学力の向上にも期待ができるのではないかと思います。

以上です。

吉田教育長 私の方から、1年の教科書の5ページ、内容ではないのですけれども、現行の指導要領では英語の授業時数が140時間に増加したわけですが、三省堂の教科用図書ではその増加分に見合うように、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能、これを統合して活用できるように、このページのほうにあるように、一番上の左側にありますけれども、プロジェクト、しかも統合と書いてありますけれども、そのプロジェクトが配置されており、現行の学習指導要領の年齢に沿った授業展開が適度に工夫されていると思います。これは、報告書のほうにも4技能の活動が充実しているとか4技能を取り入れた内容が明確であるというような報告が上がってきておりますので、こうした点で現場では活用しやすいという評価をしているかなと考えます。

他にありますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 4技能バランスよくということで、そのとおりだなというふうに思っているのですけれども、三省堂は県内では非常に採択しているところは少ないのです。現場の声を聞いていますと、文法についても偏りがあるのではないかなという意見もあるのですけれども、多くは非常に扱いやすいというようなことなのかなというふうに思っています。特に今の教育長さんのおっしゃるその5ページにもありますように、文法のまとめというのを各單元ごとにわかりやすくまとめてある項目があります。日本の英語教育について、英語を話せない子が多いかなということで、最近コミュニケーション活動が授業中かなり設定されているかと思うのですけれども、中学生に聞くと、自分で相手を見つけて話せといわれても、それが抵抗を感じているお子さんもいるようなのです。ですので、そういうことを考えますと、知的理解を深めていかないと。自分で振り返ったりするときには、文法事項についてもしっかりと知識を持たせるということも

一つ大事なかなと。そこも4技能のバランスをとることが非常に大事なかなと思いますので、現場の声を聞いていると、三省堂の教科書がそういうところもいいのかなというふうになっていますので、一番推薦する教科書として上がってきたのかなということで納得できるなと思いました。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、その他の教科用図書についての意見をお願いいたします。

荒木委員。

荒木委員 三省堂以外の教科書ということで、学校図書は似た動詞を先に扱う構成になっています。

以前に使っていた教科書にあるので、先生方のなじみもあるようです。

吉田教育長 野口委員。

野口教育長職務代理者 結構県内では使われているところもあるかと思うのですが、開隆堂、これもレイアウトが工夫されていて、本の大きさと小さ目で、その分、文章でもってということが特徴あるかなと思います。

吉田教育長 他に、また関連してでもいいですが、ございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他の観点で協議したい内容等はございますでしょうか。これについてもよろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより英語の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の皆さん、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたします。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、野口委

員、堀川委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、略称、票数について、票数の多い順に申し上げます。

15番 三省堂 28票

次に多い票数については2つの会社がございます。

9番 開隆堂 24票

11番 学 図 24票

38番 光 村 21票

2番 東 書 20票

17番 教 出 19票

以上のとおり中学校英語の教科用図書は、15番、三省堂を採択することに決しました。

特別支援教育に係る教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 特別支援教育に係る教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

齋藤選定委員（増林小校長） それでは、特別支援教育に係る教科書について説明させていただきます。

まず、特別支援学級は学校教育法第81条により、障がいによる学習上または生活上の困難を克服するための教育を行うものとして規定されております。指導内容は、該当の小学校及び中学校に準ずるものとされており、教科の構成や教科書も通常の学級に準じて利用されています。しかし、知的障害特別支援学級や自閉症、情緒障害特別支援学級で該当の学年と同様な教育課程を行うことが困難な児童が多いため、知的障害特別支援学校の学習指導要領を参考にして教育課程を編成することが認められております。

市内の特別支援学級の実情としましては、数学や国語といった教科の学習とともに、生活単元学習や日常生活の指導などの知的障害特別支援学校の学習指導要領に規定される枠組みで指導されることが多くあります。したがって、文部科学省が編集しております知的障害特別支援学校用の国語、数学、音楽の教科書を活用することは、特別支援学級において妥当だと考えます。

そこで、本日は特別支援学級用の教科書として選定について検討いただくのは、知的障害特別支援学校中学校部用教科書、国語、数学、音楽の3教科の教科書でございます。それぞれ難易度の段階として、星1から星4まであるのですが、中学校部の段階では星4の教科書でお願いしたいと思っております。

それでは、各教科の教科書について資料に沿って説明させていただきます。初めに、国語の教

科書ですが、内容を読み取ったり言語化したりすることにより伝え合う力を育むように工夫されております。特別な支援が必要な生徒のコミュニケーション能力を高めるには、使いやすい構成で特別支援学級生徒の標準的な発達段階に適合した内容になっております。挨拶、自己紹介、先生への報告の仕方、敬語や電話での対応の仕方、面接における受け答え、道案内等、さまざまな生活場面を想定して作成されており、日常生活や今後社会で活躍、活動するときの糧となる内容となっております。また、読み物教材はスーパーマーケット、自動車、時計など、生活する中でよく目にするものが選ばれ、扱いやすい内容となっております。さらに、題材の中には、はがきや手紙の書き方、標識やさまざまな書類の紹介にも触れ、実生活ですぐに役立つものとなっております。

特別支援学校小学部で使用する星1から星3、さらに中学部で使用する星4は、児童生徒の発達の進度に応じて段階的に内容が記載されており、連続性がある構成となっております。作文の教材では、句読点のつけ方や書く順序について丁寧に示されており、その後手紙、封筒、新聞、文集と書くことに焦点を当て、構成、内容、分量について徐々にレベルアップができるように工夫されております。全体的に親しみやすいイラストを使い、知的障害を持つ生徒たちが理解しやすく学習に取り組みやすいように工夫されております。

特別支援学級に在籍する生徒は、抽象的な思考が困難なことが多く、生活に根差した具体的な教材を活用して、生きる力としての言語活動を指導する必要があります。この国語の教科書は、その目的を達成するには、内容、表現、構成においてよい教科書だと考えております。

次に、数学の教科書について説明いたします。提示される問題は、日常生活に関連する絵や図が明示され、扱いやすい構成となっております。また、お金やはかり、調理、身長測定等を扱い、実際の生活で応用できる内容となっております。また、筆算がしやすいようにスペースが十分確保されており、扱いやすく工夫されております。単位では、センチメートルやキログラム等の単位の書き方から丁寧に学ぶことができ、どこでも身の回りのものを取り上げ、生活に応用できる内容となっております。実際の買い物で合計金額を求める場面や、小麦粉をはかる場面など、身の回りの課題が明示されており、基礎的な知識、技能の定着が図れるとともに、主体的な学びに結びつけることができる内容となっております。イラストを使用した導入から穴埋め、文章題と徐々に構成内容、分量がレベルアップできるように工夫されております。足し算や引き算の導入で透明シートを利用して、左右のページを使いながら視覚情報を使いながら効果的に学習が進められるように工夫されております。

皆さんのほうにはコピーでしかないので、少し透明シートではわからない部分、こういう形で、ここは物の引き算のところなのですけれども、透明シートがありまして、このところに実はそれぞれの絵が入っています。こちらのほうにあったときに、この上の子が実は5枚の折り紙を今持っているのですけれども、5枚持っているものがこちら側のページに行くと3枚をこちらの女

性に渡したという、5枚から3枚を渡して残っているのは何枚かなというようなところで、要はこれ操作して移動したよというのがわかるということと、視覚で動いているのがわかるというような工夫がされていて、こういったものが透明シートの活用として使われているということです。

特別支援学校の生徒対象の教科書ですが、発達段階の差が極めて大きいため、特に算数、数学における概念形成から生活に結びつける内容は、効果的な教科書だと考えております。

最後に、音楽の教科書について説明いたします。曲のイメージがしやすいように挿絵や写真が有効的に使われており、興味関心を持たせ、取り組みやすい構成となっております。また、自作の楽器も取り上げ、楽器を通じて音楽に親しみやすい工夫がなされております。歌唱だけでなく手拍子を使ったりリズム遊びや歌に合わせてダンスや体を動かすことに挑戦する内容のものなど、さまざまなパターンで構成されております。スタンダードな童謡、唱歌に加え、最近の歌謡曲や合唱曲も掲載されており、幅広く学習できる構成となっております。また、歌詞にはその歌の世界観を表した写真や絵が挿入されており、その曲のイメージが湧きやすくなるように工夫されております。歌詞への振り仮名や英語詩への片仮名表記の追加もあり、歌詞を楽しむ工夫が通常の音楽の教科書よりもなされております。鑑賞の題材では、曲を聞くだけでなく、バレエやオペラ等を視聴しながら楽しめる内容となっております。

以上、特別支援学校用の国語、数学、音楽の教科書について説明させていただきました。

特別支援教育につきましては、文部科学省著作教科書について採択するかしなくということになりますが、特別支援学級において生徒の実態、保護者の要望、学校での必要性に応じて教科書の選択の幅を広げ、より生徒の教育的効果が上がるように特別支援学校用の教科書を選択していただけるとありがたいと考えております。

以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それではまず初めに、選定委員会として文部科学省著作の特別支援学校中学校用教科用図書の採択についてどのような意向があるか、ご説明をお願いします。

大友選定副委員長 選定委員会では、調査報告書、教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が教育委員会に推薦するかしなくについて記載し、無記名で投票いたしました。その結果、14名全員一致で推薦することに賛成となりました。

したがって、文部科学省が編集しております知的障害特別支援学校用の国語、数学、音楽の教科書を活用することは、特別支援学級においても妥当だと思われます。

吉田教育長 他にございますか。

堀川委員。

堀川委員 現在、越谷市の中学校で、この文部科学省著作の特別支援学校中学部用教科用図書を使用している学校はございますか。

齋藤選定委員（増林小校長） 現在、市内の中学校は15校あるところですが、そのうち特別支援学級が設置されている学校が8校あります。その8校のうちこちらの教科書を使用しているところは5校ございます。その5校のうち国語、数学、音楽、3冊とも使っているところが4校、1校は国語と数学を扱っているのですが、音楽は通常の教科書で、通常の学級で普通の音楽を学習しているような状況であります。

吉田教育長 5校以外の学校はどういった教科書を使っているのか、その辺も補足していただけますか。

齋藤選定委員（増林小校長） 5校以外の中学校につきましては、使用しているのは一般の通常学級と同じような中学校1年生の教科書をいただいております。ただ、その段階において、小学校のときの例えば4年生、5年生ぐらいのレベルの学力であると小学校の教科書を利用していることが多くあります。こちらの星本の場合は、それよりもう少しレベルが低くて、小学校2、3年生レベルぐらいまでですので、それより少し高いと小学校の4、5年生、6年生ぐらいの教科書及び、ある程度能力の高い子は中学校のを使っているお子さんもいらっしゃいます。

以上でございます。

吉田教育長 障がいの程度に応じて教科書を使い分けているというふうに考えてよろしいですか。

齋藤選定委員（増林小校長） そうでございます。子どもに合わせてということで、個に応じて使用しております。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他にないようですので、質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

特別支援教育に係る教科用図書は、国語、数学、音楽を一括して審議しますので、ご意見をお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 国語、数学、音楽、全ての特別支援学校用教科用図書について言えることですが、これら文科省著作の教科用図書は、いずれも発達に課題を持った児童一人一人の実態に応じたきめ細やかな学習が展開できるよう配備されており、特別支援学級に在籍する生徒さんに対する一つの選択肢として有効なのではないかと考えます。実際この調査報告書を拝見いたしましても、小学校の教科書や通常学級の教科書の受け入れをしているとの回答もございますことから、今後

の状況も斟酌するべきだと考えます。

以上です。

吉田教育長 特別支援教育に当たっては、生活的自立の基礎を培うということが大事なことでありますよね。その点に配慮して、この教科用図書では学習を進める上での手がかりが、具体的でかつ身近な題材が取り上げられて、同時に案内状であるとか、あるいは履歴書であるとか、さらには電子メールの出し方であるとか、社会で役立つような内容が取り上げられているというふうに考えておりますが、こうしたことから、使用実績もあり、採択しておく必要があるというふうに考えます。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 では、他に協議したい内容は、各委員さん、ありますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより特別支援教育の教科用図書に係る採択に入ります。

特別支援教育の教科用図書については、文部科学省著作の教科書のみとなりますので、国語、数学、音楽を一括して採択します。

選定委員の皆さん、大変ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により可とする場合はマルを、否とする場合はバツを記入し、多数決によりマルが過半数を超えた場合、採択するものといたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、進藤委員、荒木委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

推薦するが6票

以上のとおり特別支援教育にかかわる教科用図書については、採択することと決しました。

さて、現在審議しております第37号議案ですが、本日の審議はここまでとし、以降の種目につ

きましては、日を改めまして8月1日、木曜日、午前9時30分から今回と同じ第3委員会室で引き続き審議を行いたいと存じます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本日の会議はこれにて閉会といたします。

お疲れさまでした。

(午後 4時54分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉 田 茂

委 員

野 口 久 男

委 員

堀 川 智 子

委 員

進 藤 秀 子

委 員

荒 木 明 子

委 員

渡 辺 律 子

書 記

教育総務課副課長

並 木 智 史